關大
発行所
関西大学校友会
吹田市山手町3丁目3番35号
発行人　神屋敷民蔵
電話大阪(388)1121代表
振替口座大阪55594番

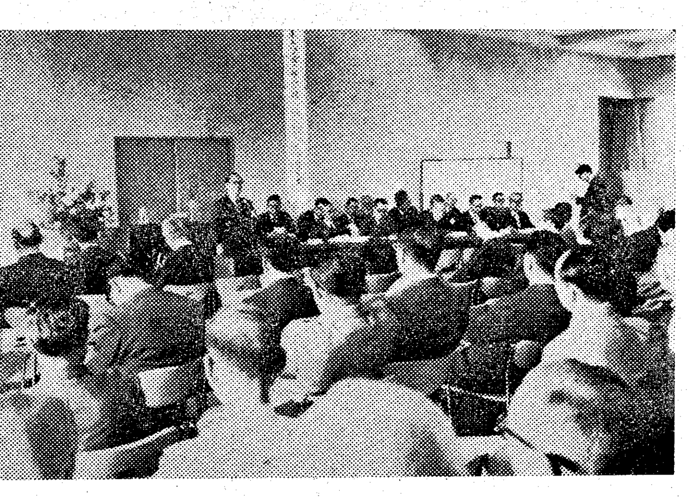
望遠鏡から顕微鏡まで
光学館
心斎橋店
2階に新設
メガネ大学堂

# 第22回　定例代議員会開く

## 組織計画着々進む

### 48年度　事業・決算承認さる

昭和四十八年度校友会の事業報告と収支決算に関する第二十二回定例代議員会は、六月一日午後一時から母校千里山関西大学会館に二百五十名が参集して開かれ、各報告案件を承認した。昨年度は特に地域・職域などの組織強化を目標に努力し、その基礎となる地域別名簿を年度内に完了したほか、組織推進計画によって支部の活動にも一段と活発な動きが見えてきた。一方、収支決算では会費改訂後の初年度であったが、昨年後半の狂乱物価の影響で、各分野に支出増をもたらし、健全運営のために入会勧奨など会員の積極的な協力が望まれる。なお今回は代議員会開会までを「基本的人権と部落問題」と題して、母校部落問題研究室長鈴木祥蔵教授に、国民的課題であるこの問題について講演をきいた。



第22回定例代議員会であいさつする榎本会長

## 支部活動一段と活発化

第二十二回定例代議員会は、講演会終了後、午後二時半から千歳総務副部長の司会で開会。全員整然と学歌を斉唱、来賓紹介をしたのち榎本会長から「本日の議題は昨年度実施した本会の事業と決算の報告承認を求める件である。慎重審議の上ご承認賜りたい。またこの機会に新緑もゆる学園を散策され、三月に竣工の新大学院学舎などご覧願いたい」と挨拶された。

次いで遠隔出席の沢田勇夫（東京）御堂河内四市（福井）白羽弥三（愛知）新子和郎（広島）津田元吉（姫路）新谷幹夫（和歌山）の各氏を紹介のあと、田中、倉谷正副議長の下で議案の審議に入った。

**▽昭和四十八年度事業報告書承認の件**

報告書に基き、担当部長が所管項目を報告、採決の結果、異議なく承認した。本年度事業の概要は次の通りである。

**1、主なる会合**　校友総会1回代議員会2回、常議員会4回、全国支部職域同期代表者総会1回、大阪近郊支部組織懇談会1回、部長会10回、各部会23回、出版委3回、顧問参与との懇談会1回。

**2、関西大学を築いた人々の出版**　本紙に昭和41年9月以来毎月掲載して好評だった「関西大学を築いた人々」について編纂委員会（坂本龍夫委員長）を設置して作業を進め、10月10日A5版三百頁を三千部単行本として刊行した。

**3、名簿事務の推進**　48年3月新卒業生が確定すると直ちに基本原票を作成し6月には単冊名簿を発行。一方、7月以降は校友地域別名簿資料の作成と取組み、年度内に完成した。これは今後の組織計画を推進する資料としてその活用が期待されている。

**4、機関紙〝関大〟の発行**　本紙は母校と校友ならびに校友相互を結ぶ連絡機関として、校友の家庭に母校の近況、校友の消息等を報道して19年、内容の刷新を図り校友に親まれる紙面構成につとめている。この一年間新卒校友に対し約四千部の増刷があり、月三万五千部、この一年間延十一号三十六万八千部を発行した。

**5、会員の慶弔**　この一年間の件数は祝意66件、激励16件、弔意69件、見舞5件であった。

**6、組織活動について**　この一年間、特に創立90周年を二年後にひかえて、組織の強化を図るため組織推進計画を樹て、七月には大阪近郊支部組織懇談会を、九月には全国支部職域同期代表者総会を開き、今後の組織計画を協議した。またこれに呼応して、順次天王寺、寝屋川、西宮、茨木など有力支部で次々と再建総会が持たれた。

なおこの一年間の総会開催回数は、支部総会38回、職域会31回、同期会14回、クラブOB会4回、各種団体3回、関係校友会1回である。

**7、事業活動について**　地方校友と連携を図り「関西大学文化講演会」を高松市で開催した。これは香川支部の強い要請もあって法人と共催の下に8月25日実施した。当日は文学部横田・網干両教授を講師に迎え、県教委の後援をはじめ支部校友の熱心な広報活動により七百余名の幅広い聴講者で大盛会であった。

一方、第4回事業部見学会として12月2日〝飛鳥めぐり〟のまとめとして、河内・大和の〝二つの飛鳥〟を文学部網干教授の案内で見学した。

**8、その他**　在学生・教育後援会との接触を通じて相互の理解と信頼を深めることにつとめた。

**▽昭和四十八年度収支決算書並びに財産目録承認の件。**

別表の普通会計、予納会計、終身会計について、荒井財務部長の決算報告、大森監事の監査報告があり、財産目録とともにこれを異議なく承認した。

とくに四十八会計年度は会費改訂による初の決算報告であるが、**普通会計**では昨年の狂乱物価の影響による物価騰貴あるいは業務増で、物件費・会議費など当初予算額を越える支出超過を見た。これは冗費節減と収入増（会費収入・広告収入ほか）の支えによって赤字財政に至らず決算報告することができた。

なお予備金は「関西大学を築いた人々」の買取代金に充当したものである。

**予納会計**では会費改訂による初年度としては、卒業時収納を受ける後払制度など定着し、本予算二二八〇名の収納予定に対し二八八五名（六〇五名増）の実績を見た。

また**終身会計**では一五〇名の収納予定に対し五八名の収納実績となり未加入会員の入会勧奨について校友諸氏の積極的な協力が望まれている。

**▽その他**

なお当日は、母校で全国に先がけて開設された部落問題研究室の室長を担当の文学部鈴木祥蔵教授から、「基本的人権と部落問題」と題しこの問題に関する貴重な講演を伺い、また母校久井理事長から難局に直面する母校財政についての所信の表明があった。

### 昭和48年度 収支決算書

（自 昭和48年4月1日
至:昭和49年3月31日）

**1. 普通会計**

| 支出 | | | | 収入 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 項目 | 当初予算額 | 決算額 | 増減 | 項目 | 当初予算額 | 決算額 | 増減 |
| 人件費 | 15,585,000 | 15,602,818 | △17,818 | 前期繰越金 | 762,965 | 762,965 | 0 |
| 物件費 | 2,590,000 | 2,856,907 | △266,907 | 会費収入 | 18,750,000 | 18,907,000 | △157,000 |
| 会議費 | 600,000 | 833,897 | △233,897 | 会費外収入 | 12,122,000 | 12,878,803 | △756,803 |
| 事業費 | 12,054,000 | 11,729,647 | 324,353 | | | | |
| 渉外費 | 150,000 | 236,900 | △86,900 | | | | |
| 割戻金 | 150,000 | 226,500 | △76,500 | | | | |
| 予備金 | 505,965 | 385,770 | 120,195 | | | | |
| 次期繰越金 | | 676,329 | △676,329 | | | | |
| 合計 | 31,634,965 | 32,548,768 | △913,803 | 合計 | 31,634,965 | 32,548,768 | △913,803 |

**2. 予納会計**

| 支出 | | | | 収入 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 項目 | 予算額 | 決算額 | 増減 | 項目 | 予算額 | 決算額 | 増減 |
| 終身会計へ繰出し | 13,495,500 | 13,495,500 | 0 | 前期繰越金 | 50,160,000 | 50,160,000 | 0 |
| 次期繰越金 | 51,649,500 | 55,803,000 | 4,153,500 | 予納会費受入金 | A12,600,000 | 17,073,000 | 4,473,000 |
| | | | | | B 1,935,000 | 1,930,500 | △4,500 |
| | | | | | B′ 450,000 | 135,000 | △315,000 |
| 合計 | 65,145,000 | 69,298,500 | 4,153,500 | 合計 | 65,145,000 | 69,298,500 | 4,153,500 |

**3. 終身会計**

| 支出 | | | | 収入 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 項目 | 予算額 | 決算額 | 増減 | 項目 | 予算額 | 決算額 | 増減 |
| 普通会計へ繰出し | 17,500,000 | 17,500,000 | 0 | 前期繰越金 | 17,984,816 | 17,984,816 | 0 |
| 次期繰越金 | 15,480,316 | 14,605,316 | △875,000 | 終身会費受入金 | 1,500,000 | 625,000 | △875,000 |
| | | | | 予納会計より繰入れ | 13,495,500 | 13,495,500 | 0 |
| 合計 | 32,980,316 | 32,105,316 | △875,000 | 合計 | 32,980,316 | 32,105,316 | △875,000 |

# お時間拝借

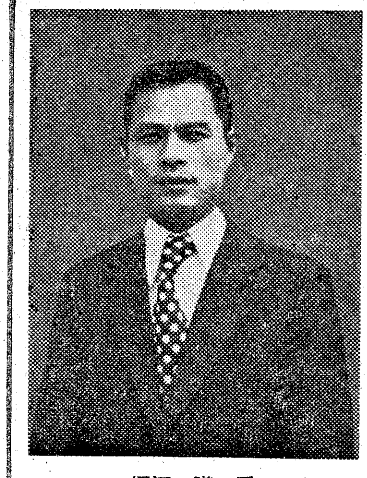
## 校友あれこれ対談

—33—

「マーメイド三世」

### 堀江謙一氏

聞き手　吉田三七雄



堀江　謙一氏

## 単独無寄港　世界一周大記録

### 魔の海に喪服の二女性

**吉田**　ほんとに、ご苦労さんでした。えらいおかしな言い方だが、それがどんなにえらい苦労だったのか、想像もつかないんだけど、ほんとに、ご苦労さん！（笑い）

**堀江**　いやあ、有難うございます。（白い歯を出して笑う。相変らず、身体は小さいが、ファイトの固まりみたいな人物である）

**吉田**　あなたのことについては、いろんなところで報道されたあとだから、同じようなことになると思いますが、まあ我慢して答えて下さい。

**堀江**　トンでもありません。

**吉田**　世界一周に成功して、忠岡港に着いたとき、記者会見で妙な質問が飛び出しましたねえ。「無寄港世界一周を、どのようにして確認するのですか」なんて。頭にカチンときたでしょう？

**堀江**　そんな質問が出ることは、ヨットの中でも覚悟していました。だからぼくは、別に腹も立ちませんでした。いや、不思議に冷静な気持ちでした。十二年前の太平洋横断のときも、あんなちっぽけなヨットで、波の荒い太平洋を横断出来るはずがないと、キセル説を唱えるひともありましたから、こんどの質問に対しても、やっぱりきたなと思っただけでした。ポート・エリザベスとケープタウンで、それぞれ一隻のヨットに出会っていますし、日本国内のハムと交わした電波の具合とか、ヨットの船底にこびりついた貝を調べてみるとか、証明する手だてはいくらでもあります。けれど、そんなことを、必死になって証明する必要があるんでしょうか。ぼくは、世界一周早回りの新記録をたてるためにヨットに乗ったわけじゃありません。それは、あくまで副産物ですし、だれかに信じてもらいたいためじゃなかったんです。

**吉田**　うん、よく分ります。とにかく、ヨットで世界を一周してみたかったんだ。そうでしょう？

**堀江**　ええ、そうなんです。十二年前にマーメイド一世で、九十四日かかってサンフランシスコに着いた瞬間から、ぼくは、なにか非常にむなしさみたいなものを感じていました。それは、自分でも予期しない心の動きだったんですが、ぼくはそれから、心の空白を抱いたまま、それを埋めてくれるテーマを探し求めていたんです。

**吉田**　ヨットでノンストップの世界一周を考えついたのは、いったい、いつごろから？

**堀江**　太平洋ひとりぼっちの旅が終って、二年ほどたってからでした。そしてこの夢は、極めて自然に、ぼくの夢としてだんだん大きくなってきたんです。

**吉田**　そこで、マーメイド二世の誕生ということになるわけ？

**堀江**　そうです、そうです。一昨年の十一月十二日、このマーメイド二世で淡輪港を出発したんですが、ご承知のように、それから一週間のちには、海上保安庁の巡視艇に曳かれて、マストの折れた哀れな姿で鳥羽港に戻ってきました。それから数ヵ月、ぼくはマスコミの袋叩きにあいました。そのとき、ぼくは思ったんです。いま言いわけをしてはイカン、逃げてもダメだと思ったんです。それよりも、二世号の失敗で、もうだれもぼくなんか見向きもしないだろうから、いろんな義理人情にわずらわされずにすむ。これからは、ひとりで自由なことが出来る。そう思ったとたん、気持がさばさばして、すぐにまた新しい準備にとりかかったんです。

**吉田**　われながら、あまりにも恥かしい月並みな質問だが、ほんとのひとりぼっちというものは、こわいもんでしょうねえ。

**堀江**　こわくないと言えばウソになります。航海のはじめのころには、よく泣きました。長い航海に対する不安感が、ひょいと頭をもたげたとたん、涙がポロポロッと流れてきました。ふだん陸上の生活では、人目があるから、めったに泣かないようなことも、ヨットは一人だから、だれにはばかることもありません。しかしそれも、日数がたつにつれて、海に乗り出した興奮状態がおさまり、だんだん泣かなくなりました。

**吉田**　死にかけたことも随分あったんでしょうなあ？

**堀江**　何回もありました。最初は、出発してから十三日目のことでした。台風八号と新しい熱帯性低気圧の連続パンチを受けて、あっというまにマストが、海に突きささるようなかたちで横倒しになりました。ほんとに、ぼくはもうアカンと思いました。ぼくの目の前を喪服姿の女がふたり、すうーっと通りました。ひとりはオフクロで、もうひとりはカミサンです。ぼくは、これはオレの葬式やな、と思いました。ひどく鮮明なイメージでした。それからも何回となく、これが最後やと思うことがありましたが、その都度頭の中をかすめて通るものは違ったものでした。おかしなものですねえ。

**吉田**　うーん。ぼくも戦争で、何回となく死ぬ目に会い、鱶の海で潜水艦の浮上砲撃も受けたが、いつも、ひとりぼっちじゃなかった。だれか一緒に死に、一緒に助かったことを喜び合える人間がいたから……。ところで、今現在のあなたの心境はどうなんです？

**堀江**　叱られるかも分りませんが、忠岡港に着いたその瞬間から、ぼくはまた、モヌケのカスみたいな気がするようになったんです。また新しい目標を発見することが出来るかもしれないし、また出来ないかもしれません。ただ待つだけだ、そんなことを考えているんです。

**吉田**　それじゃ、マーメイド四世もあるわけですか？

**堀江**　さあ、それもまだ分りません。それが今のぼくの、本当の気持です。それにしても、こんなに物が高いと困りますね。マーメイド三世と同じヨットを作ろうと思うと、あのときより二倍以上もかかるでしょう。ええときに作っておいてよかったと思っています（笑い）

**吉田**　ヨットの世界にもインフレの風が吹く、か。（笑い）最後にもう一度、ご苦労さんでした。

**堀江謙一**（ほりえ・けんいち）十二年前、二十三歳の若さで太平洋単独横断の壮挙をなしとげ、今回またマーメイド三世号で西回り単独無寄港世界一周、二百七十五日十三時間十分の早回り新記録を樹立した。昭和三十二年関大一高卒。

## 本学発祥の地に

### 顕彰碑建つ

大阪市の文化財顕彰委員会で、本学の前身関西法律学校跡を史跡に選定したことは、本紙二二〇号（昭49・4・15）に報道したが、これが顕彰碑が、このほど西区京町堀三ノ二九願宗寺跡に建立された。

碑は22㌢角、高さ1.3㍍の花崗岩で、表面に「関西法律学校発祥の地」、側面に「明治十九年十一月四日、井上操ら当時の司法官達によって、この地のもと願宗寺内に創立された関西法律学校は、現在の関西大学の前身である。昭和四十九年三月、大阪市建立」と刻まれている。

願宗寺は、昭和二十年の戦禍によって焼失し、現在は民家などになって昔のおもかげはないが、大学の発祥の地が、大阪市の史跡に選ばれたことは、大学関係者にとって意義ふかいことである。

大学では、願宗寺最後の住職夫人仏子コト氏（コト氏は老令のため三女吉田温子氏が代理）と、碑の建立地提供の潤井茂氏（夫人代理）を招き、顕彰碑建立記念会を五月二十八日午後二時から、うつぼ公園大阪スポーツマンクラブで開催、久井理事長、明石学長から九十年の昔、法律学校創業を追懐して今日の本学の濫觴であることをのべて謝意を表した。

（四面に関連記事）

### 新卒のみなさん

本年三月卒業の新校友名簿は七月上旬発行の予定です。名簿ご必要のむきは至急お申込み下さい。

学部・学科別、勤務先、現住所ならびに電話番号収載、B5版6ポ二段横組、一〇〇頁

頒価八〇〇円（〒共）

564
吹田市山手町三ノ三ノ三五
関西大学校友会
振替口座大阪五五五九四番

## 私学助成国立なみに

### 教育後援会総会で決議

関西大学教育後援会の昭和四十九年度総会は、五月十九日（日）千里山学舎で開催、全国から集まった父兄は六千名にのぼり、十万坪にあまるひろい学園も、当日は父兄で一ぱいであった。

午前中は体育館で総会。昨年度の事業報告、会計報告、役員改選（新会長武井正範氏）のあと、私立大学と国公立大学とのあらゆる面での「格差是正」のために、関西大学教育後援会の名で、私立大学への国庫助成の促進運動を展開することを決議した。なお「私大にも国公立なみの国庫助成を」の決議文を田中首相におくり、署名運動に入ることになった。

午後は、六学部、学年別の父兄懇談会。各学部の教学方針、学生生活、就職問題などについての現状報告のあと、クラス、ゼミ担当教授と個人面談があった。

## 〝これからの日本〟を聞く

### 関大経済人クラブ例会

関西大学経済人クラブの第四十四回例会は、去る五月二十一日午後五時半よりホテルプラザにおいて、吉田三七雄氏の紹介のもとに、朝日放送報道局長田尻泰正氏から〝これからの日本〟の講演を聴いた。

近く行われる参院選は、日本の運命を示し価値転換を迫られている。自民退潮ムード、田中人気はダウンしているが、必ずしも政情は政党政派にこだわらないムードがかもしだされている。

自民党は政策の先取り姿勢があり、人的に旧い年代から新しい年代への交替が進み、質の転換とバイタリティーがある。野党は、高度成長の恩恵を得た階級でありながら観念的イデオロギーとかけ声的理念にいつまでもとらわれている。むしろ保守党の方が現実の問題に幅の広い視野に立ち、分析と検討の姿があると思われる。

社会党は、左中右の寄せ細工的存在、公明党も保守的色彩が内存し、政治的スケールに限界がある。従って保革逆転、民主連合政権の可能性は疑問と思う。今夏の参院選、来年四月統一地方選、七月には自民党総裁選があり、秋頃には解散風が吹きはじめ、五十二年の参院選と、日本の政治スケジュールは激しく、これからの日本の方向がきまるであろう――。

以上の如く、ジャーナリストとして率直な見解を話された。

なお、岡野会長から、さきほど藍綬褒章の栄に浴された会員田島喜代次氏に記念品を贈り、当日欠席の鍵谷武雄、寺浦留三郎両氏には、記念品を届けて祝意を表することとした。前川信之助氏の閉会の言葉で会を閉じた。

## 行事と集い

- 神戸市役所関大クラブ総会 6月21日（金）午時5時30分　三宮そごう
- 第14回泊園記念講座　6月22日（土）午後1時半、大阪証券会館9階ホール
- 関西大学 二部応援団OB総会　6月24日（月）　午後7時　梅新ニューミュンヘン
- 天王寺支部総会　6月26日（水）午後6時　月華殿
- 関大法曹会総会　6月29日（土）午後3時　有馬兵衛（向陽閣）
- 夏期休業開始　7月1日（月）
- 尼崎市役所秀麗会　7月12日（金）午後6時　尼崎市立産業郷土会館

## 韓国の文化遺跡見学へ

### 考古学教室が

日本文化の源流をたずねて、韓国の文化遺跡の見学は、本学では今までに二回あった。

第一回は昭和四十六年八月、横田健一教授ら主として史学科の教授の見学団で、「韓国史跡の旅」（B6二九四頁、創元社）として公刊された。第二回は、翌四十七年七月、校友会主催、網干善教教授案内でNHKテレビでも報道されたのであった。

今回は第三回目であるが、考古学研究室主催、網干、薗田、大庭教授ら史学科の教授、学生、飛鳥研究会など、専門分野での見学団で、七月四日から七日間、釜山から慶州、公州、扶余、ソウルと四十六年第一回のコースをとって遺跡を見学することになった。

## 第14回泊園記念講座

六月二十二日（土）大阪証券会館九階ホールにて、午後一時半から四時半まで開催される。講師並びに演題は次のとおり。

総合テーマ
「アジア地理学の諸問題」
一、石油のエネルギー事情　関西大学教授　末尾至行
一、古地図にあらわれたアジア　関西大学教授　織田武雄
一、水質汚濁規制の限界　関西大学教授　宇田米夫

## 蕈の栗

去年から、今年にかけての物価の値上り、これはそうとうなものだった。福田大蔵大臣がいった「狂乱物価」この言葉は、日本経済史に永く残るだろう▼さて、古い以前から、物価のモノサシのようにいわれた米の値段をしらべてみると、明治二十年（八十七年前）では、米一石が九円であった。それが現在、三万二千円（小売価格）となり、約三千六百倍になっている▼ところで、その頃、賃金労働者の一日の収入は、二十銭から三十銭ていどであっただろう。それが現在、サラリーマンの一日平均収入は約三千円にもなり、一万二千倍ていどになっている▼そこで、別の話になるが、現在の郵便制度が実施されたのは、明治四年（百三年以前）で、それまでは、江戸（東京）から京都、そして大阪までの東海道筋ぐらいしか、満足な通信ができなかった。書状を運ぶ人夫が書類箱をかつぎ、尻からげして走ったものである。いわゆる飛脚屋である。それが、東京、大阪間で、一便（片道）二十三両であった。それに、大切な書状であれば、夜間の盗賊防止のため、人夫一人増すごとに十二両を要し、大事な急ぐ手紙は、一通で三十五両もかかった。つまり、米四石（約五五〇キロ）に相当する代金である。もっとも、この手紙の速度は、三日半であったが、速度のおそい大衆向きの手紙は、約半月を要するが、その料金は三百文（米三升分＝四キロ余り）であった▼それにしても、当時の通信料というものは、現在のハガキ一枚十円に比べ、じつに高額なものであった。昔は、十両一首（ひとくび）という言葉があり、十両という大金を盗めば、首が飛ぶといわれた時代に、三十五両が、いかに大金であったかがわかる▼それにしても、狂乱物価で大騒ぎしたが、前述のとおり、明治のころに比べ、人件費は急上昇の一途をたどり、この節の各私立大学は、そのため財政的に四苦八苦の状態で、毎年、ふたケタのパーセントのベースアップで、大学経営は破たんにひんしている。その一例は明治大学が四十数億円の借入金問題で、理事が総辞職をした。国庫補助の大幅増額は、声を大にして叫ばねばならぬ。

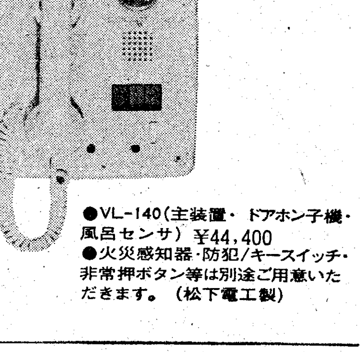
カタノヨイ　カタノコラヌ　カタノクズレヌ　カタノ洋服店
最高のおくりもの
カタノ紳士服
片野洋服店
大阪市東区北浜三丁目北浜通　電話大阪(231)〇五六五～七
大阪駅前店　第一生命ビル　専門大店　電話　大阪(341)〇七九二
上六近鉄百貨店紳士服サロンテーラーカタノ

プレゼントのお考えはきまりましたか
サイフ・ハンドバッグ・カバン専門卸
ビジネスバッグ・旅行カバン
GIFT　贈答好適
ご一報者にカタログ急送
K.K廣島屋本店
取締役社長　蔵田廣造
（昭和25年　経済学部卒）
〒541　大阪市東区博労町1－26
TEL 06－261－2431

運転免許は
校友がお世話する
〝大阪城東の〟
公安委員会指定
都島自動車教習所
大阪市城東区別所町157
〒536　TEL(06)912－7171
担当　太田清太郎（昭29.学2法）
優待証　関大
校友、在学生、又は校友紹介の方は左の優待証を切り取り持参下さい。授業料割引きの特典あり。

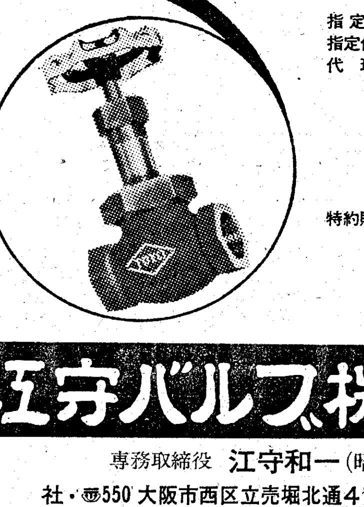
●サラリーマンの財産づくりに―
ダイワ　財形信託
●天引きで貯めやすい
●高利回りの信託
●積立金は1,000円から
●㊝とは別枠で　500万まで無税の特典
長い人生――頼りがいある銀行を持つべし。
大和銀行

電子技術で未来をひらく　松下通信工業
安全で快適な生活をになう――！
ナショナル住宅総合インターホン
1台5役の働きもの
ナショナル住宅総合インターホンは、訪問者と通話ができる**玄関電話**、風呂の水位や温度・漏水を感知する**風呂センサ**、屋外への**非常警報**、異常高温や火災を感知する**定温式スポット型感知器**、窓やドアからの不法侵入者をとらえる**防犯・キースイッチ**など、近代生活には欠かせない機能を備えています。



●VL－140（主装置・ドアホン子機・風呂センサ）¥44,400
●火災感知器・防犯/キースイッチ・非常押ボタン等は別途ご用意いただきます。（松下電工製）
●お問い合わせは………
ナショナルインターホン販売（株）
大阪市都島区中野町3－8－14 電話352－2171
神戸営業所 神戸市葺合区御幸通2－6 〒651 電話(078)231-6141
松下通信

管工機材　総合問屋



指定問屋　東洋バルヴ株式会社
指定代理店　株式会社北沢バルブ
代理店　株式会社北斗バルブ製作所
株式会社イズミ製作所
株式会社吉田バルブ製作所
中嶋バルブ工業株式会社
株式会社田渕製作所
佐野鉄工株式会社
アロン化成株式会社
特約販売店　住友金属工業株式会社
日立金属株式会社
アメリカコーラー社
江守バルブ株式会社
専務取締役　江守和一（昭和41学1法）
本社・〒550 大阪市西区立売堀北通4丁目51　☎06(532)6321(代)
福岡営業所・〒816 福岡市博多区那珂下原656番1　☎092(441)8431(代)
新居浜出張所・〒792 愛媛県新居浜市泉宮町3番3号　☎0897(37)0650(代)

# 北から・南から　各地支部だより

# 関大スポーツの発展へ
# 新陣容で再出発
## 体育OB会総会

体育OB会総会は、去る五月二十四日午後六時から梅田のホテル阪神で各部OB会代表等一五〇名が参集、総会結成以来かつてない盛況裡に開催された。

総会は、秋山常任理事・事務局長の司会で、先ず先日、遭難物故した母校・山岳部の二学生（寺内・松川君）の冥福を祈って黙祷を捧げた後、岩佐OB会会長が挨拶に立ち、学園紛争以来の関大体育の現状を客観的、かつ端的な表現で集約、各部OB会の結集と建設的な前進を呼びかけるとともに、大学当局の体育行政のあり方にも言及し、母校体育の健全な発展に内外の協力を強く要請した。

これに対し久井理事長、明石学長、榎本校友会長は、それぞれの立場から、内外一致して健全な学生スポーツの振興をはかることは目下の急務であり、最善の努力を払うとの決意が表明された。

▽一般経過報告と役員の改選

事務局長より一般経過報告。松井副会長から体育会OB理事会で決定された新役員の顔触れを発表、満場の拍手を以て承認された。なお、新陣容は別記のとおりで、副会長四名のうち二名は本人から辞退の申し出があったが、新陣容による推進策が確立するまでは勤めて頂くことになった。

▽検討委員会（仮称）の設置

従前の「監督・コーチ懇親会」から脱皮して、昨年誕生した「監督・コーチ会」について、平原陸上競技部監督から強化・再編成実践の苦労話が披露された。淡々と語られる報告の中に、事態の容易ならざることを再認識し、総会場には一瞬、粛然たる空気が流れた。

ここで、執行部側から今後の在り方を検討し、実効を期する方策を研究する委員会の設置が提案され、万場一致で承認された。メンバー構成、会則の改正、名誉会長顧問及び相談役の委嘱等は執行部に一任された。以上で議事万端終了し、今期、第一回常任理事会を六月十二日に天六学舎会議室で開催、直ちに行動を開始する運びである。また、検討委員会で検討した結果については、逐次、本紙面をかりて発表いたします。

▽懇親会の景況

懇親会は陸上競技部OB大島鎌吉氏の乾杯の音頭で宴に入り、久しぶりに懐しい顔を見せたボクシング部の三谷幾太郎氏をはじめ、剣道の大島武夫氏の激励・アピール、アメリカン・フットボール部のグアム島遠征談、堀江謙一氏ヨット航行の裏話、ボクシングOBの三国敏成氏の運動部記者の立場からの談話などが相次ぎ、最後に名剣要一氏（剣道部OB）が立って、四十四年以来、OB会が要望し続けている件について大学側にあらためて前進的、建設的な姿勢を要望し、その見解を求めた。（これについては大学側から見解の表明のありしだい、「関大」紙上に発表いたします—OB会事務局）

宴もたけなわ、歓談の尽きぬところ、拳法部OB酒井氏の指揮で学歌斉唱、菊川副会長の閉会の辞、久井理事長の発声で体育OB会万才を三唱して、有意義な会を終了した。

関大スポーツの健全な発展と、現状の克服について、広く校友諸兄の、ご理解、ご協力をお願いします。

▽連絡事項

役員の推挙、その他要望事項の一切は左記・松井副会長方にご連絡ください。

大阪市東淀川区豊里菅原町五三〇七・サン商事KK（電話06—328—六三三四番）

（体育OB会事務局長・秋山剛）

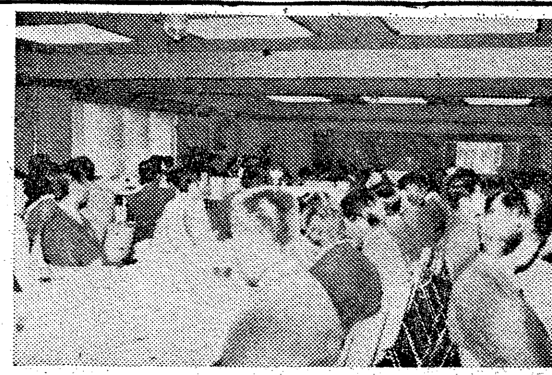
▽関西大学体育OB会・新役員（任期・五十一年三月）

会長　岩佐清三郎（ホッケー）

副会長　菊川博（硬式野球）　松井清（レスリング）　霜田武（スキー）　北尾郁之介（アメリカン）

事務局長　秋山剛（拳法）

常任理事　名剣要一（剣道）　東稔頼義（相撲）　田中幸治（ホッケー）　鷹野修一（水泳）　佐々木敞（レスリング）　宝田重幸（本部）　合田幹彦（アメリカン）　小西丕（拳法）　飯田恭三（スケート）　鳥居康三（柔道）　平原豊弘（陸上）　松田秀司（ボクシング）　田中大二（弓道）　森川忠勇（フェンシング）　東芝照夫（射撃）　川口浩（相撲）　安岡幹雄（ボクシング）　田尾一郎（陸上）　乙咩健作（硬式野球）　青木積之介（陸上）　伴義孝（レスリング）　岩田家正（柔道）　白藤一郎（剣道）



新陣容で再出発の体育OB総会

# 栄転など祝賀会
## 神戸の三倶楽部が開催

神戸市には在住校友五千名をこえ、神戸関大倶楽部は全国支部のうち第一位のマンモス支部で、毎年一回総会のほか会員の栄転など慶事祝賀会を開催している。

今回は左記の諸君の祝賀会を、兵庫県庁秀麗会、神戸市役所関大倶楽部、神戸関大倶楽部の三倶楽部共催で、五月二十二日午後六時から三宮そごう九階食堂で開いた。

▽栗坂諭氏（昭12）「聖天信仰」出版記念
▽斉藤国臣氏（昭13）兵庫開発公社理事長就任
▽中原豊氏（昭14）兵庫信用金庫専務理事就任
▽佐野雄一郎氏（昭16）神戸市総務局長栄転
▽竹谷和夫氏（昭17）兵庫県生活部長栄転
▽高見繁氏（昭17）兵庫県参事栄転
▽久次米英明氏（昭17）神戸市長田福祉事務所長栄転
▽石谷良雄氏（昭18）兵庫警察署長栄転
▽津島功氏（昭18）神戸市消防局長栄転
▽野中明氏（昭19）神戸市環境局長栄転
▽岡本夏臣氏（昭19）神戸市副出納長栄転
▽三井一男氏（昭22）神戸市教育委員会事務局参事栄転
▽坪田健児氏（昭23）神戸市衛生局管理センター長栄転
▽森田五郎氏（昭23）神戸市会議員在職十五年表彰
▽林義一氏（昭24）神戸地裁部長判事栄転
▽福屋憲昭氏（昭24）神戸地検公判部長検事栄転

出席者八十余名におよび、大学から明石学長、校友会から榎本会長、いつもながら小谷参議院議員は東京から参加された。

向井副理事長の司会で開会、山崎敬義理事長は、会員の中から多数の栄転、栄進、就任など諸慶事に対し祝意を表した。また来賓の明石学長、榎本校友会長からも祝辞と学園並に校友会の近況報告、小谷参院議員の祝辞があった。

栗坂諭氏の代表謝辞があって開宴、長老水本信夫弁護士の音頭で乾杯、重なるお祝いだけにビールやお祝の寄贈も多量、歓を尽くして午後八時半閉会した。

神戸3倶楽部の栄転など祝賀会

# 東京支部春の総会

校友会東京支部春の総会は、五月十五日午後五時から市ヶ谷「私学会館」で開いた。当日は早朝来雨天となり、出席回答者の取消しも相つぎ出足思わしからず、総員五十四名であった。

大学当局からは理事長代理として金田雅一理事兼総務局長、校友会からは会長代理として坂本龍夫副会長が出席され、また大学顧問板橋菊松先生は、当日最終便で下阪の予定にもかかわらずご出席の上、それぞれ有益なお話を伺って一同感銘を深くした。

今回の開催にあたり、会員からアンケートを求め、その結果につき報告かたがた趣味の会に関し来会者の希望を聴き、その結果を待って可能なものから実現を図りたいと思っている。

安田火災取締役営業第四部長佐渡三重郎氏も帰り新参として出席あり、会のふん囲気も終わりに近づくにつれ盛りあがり、坂本副会長から「支部長は会のことを心配していられるが、次回には百名さらに二百名と回を追い盛大に向かうことは諸君の醸し出されるふん囲気より信じて疑わない」とのあいさつあり、さらに来年の母校創立九十周年記念事業については東京会員の協力方の要請あり、一同拍手をもって賛意を表した。

あいにくの雨の日に開かれた東京支部春の総会

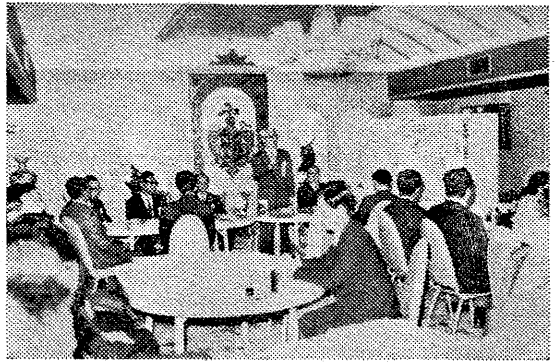
# 在阪組織の推進を誓う
## 自動車関大総会

自動車関大会（大橋博会長）の四十九年度総会は、五月十日なじみとなった千日前〝ミュンヘン南大使館〟に五十名が参加して一夕を歓談した。

本会も発足して九年、今や底辺人口は六百名を越えるといわれている。当日は二十社にわたる幅広い校友が参画し、これら底辺の吸収を図り、明年に迎える母校創立九十周年記念に向かって組織の推進を誓い、年度内に在阪各社を網羅した「自動車関大会名簿」を再編集することになった。

昨年来の石油危機に端を発し、昨今は狂乱物価の影響をもろに受けているのが、まさに自動車業界であり、当日挨拶に立った大橋会長も「この苦しみを分ち、助け合うところに当会の意義があり、今こそ設立の趣旨を生かす時期である」とこの点を力説された。

会計報告、事業計画など総会議事を承認のあと、来賓の榎本会長、坂本副会長、田中行雄教授らの祝辞が続き、また毎年現役自動車部の主催するJF公認の〝関大ラリー第八回大会〟に関し、自動車関大会から「楯」（優勝以下十位までの全賞）を寄贈し、席上で自動車部顧問田中教授におくった。



組織の推進を誓った自動車関大会総会

# 会長に佐々木砂夫氏
## 新学舎竣成を機に修士会総会

新緑の五月十八日午後二時より地元のアサヒビール吹田工場内で久々の修士会総会が開催された。

総会に先立ち、会員の藤井昭三氏より「最近のソ連・東欧みたまま」と題し、生々しい帰朝の報告をうけ、出席者一同傾聴した次第である。（同氏は去る四月五日より二十六日まで、大阪府議団一行のメンバーの一人として外遊されたもの）

つづいて総会の開催となりはじめに安橋会長よりあいさつ、会則によると総会は年一回となっているが、大学紛争等諸般の事情が重なり、三年間開催できなかったことを深くわびられ、会員一同の了承を求められた。藤井副会長から会務、会計報告があり、つぎに安橋会長から役員改選の議題にうつり次の提案がなされた。

現会則は昭和二十七年に作成されたものであり、内容的に現状に即しない条文もあるので、この際会則の改正もかねた次期役員選考委員の選出を提議され、満場一致をもって会長提案を承認した。

つぎに母校の近況報告についで来賓の榎本校友会長及び修士会名誉会長の西原大学院部長から、それぞれ去る四月四日待望の大学院学舎が竣工したこと、来年は母校創立九十周年に当たることなどのべられ、修士会の発展が母校校友会の発展に大きな原動力となることを力説された。

総会終了後懇親会にうつる。

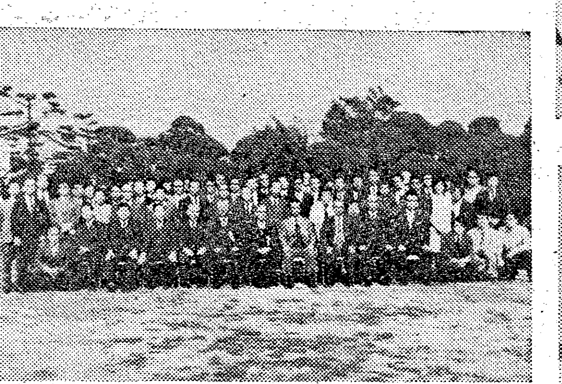
久しぶりに集まった会員諸氏より近況報告、久井理事長来席……早速あいさつ、遅延のおわびについで修士会より大学院学舎改築に当り記念植樹の寄贈に感謝の意を述べられた。つづいて明石学長入場、早速大学の近況をのべられ、なつかしいかつての教え子と再会され、ビールをかたむけながら時間の少ないのを悔んでおられたようである。

和やかな懇親会も五時に打切り準備された観光バスで夕闇せまる千里山の改築なった大学院学舎を見学、すばらしい建物に一同ただただ驚嘆するばかりであった。昔学んだ学舎はあとかたもないが玄関ロビーのところに、これまたすばらしい油絵となって残されていた。

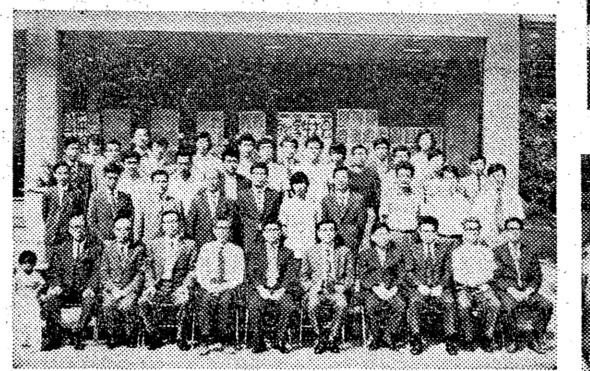
当日の出席者六十五名、来賓は理事長、学長、校友会長、大学院部長ほか亀井商研究科長、神屋敷事務局長、浜瀬大学院事務長、藤本校友会事務局次長。

この日選出された役員選考委員会が、六月七日午後六時より大阪堂ビル「清交社」で開催され、慎重審議の結果次期役員を次の通り選出した。

【会長】佐々木砂夫【副会長】有福健、藤井昭三、松井信雄【常任理事】横山清美他五名【理事】上東秀雄他十一名【監事】郭長城他二名。



久しぶりに開かれた修士会総会に参加の皆さん



電友会OB総会に出席の皆さん

# 菅井会長再任
## 電友会OB会

電友会OB会は卒業生三十八名来賓七名が集まり、母校工学部第一読書室で六月二日午後一時より行われた。総会は母校工学部助手小長谷正彦副会長の司会によって開会され、菅井一夫会長の挨拶、次に祝辞として電気工学教室主任太田義一教授より電気工学教室の教員構成と研究テーマ等の全般的な紹介があり、一方、大学院電子工学専攻主任、森田正信教授より電子工学教室の教員の近況、研究成果および就職状況等について説明があった。引き続き、田中郁雄、高元暐夫各教授、吉田博助教授、今西茂、大東延久各専任講師の祝辞の後に前工学部長山口次郎教授より本会の発展のために数多くの貴重なスピーチを聞き深い感銘を受けた。

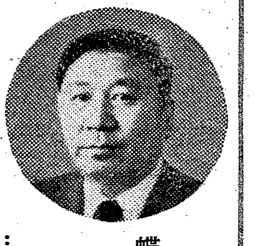
会務報告、会計報告が承認され役員改選の結果、次の通り選任された。

会長　菅井一夫（安川電機）
副会長　小長谷正彦（関大工）　西山徹（アルプス電気）　武井一夫（カシオ計算機）　高野孝夫（高野塗装）
書記　飯田幸雄　福本哲夫　米田明
会計　佐久間賢蔵　今井庸勝　桜井実
監査　金景勲

なお電友会OB会顧問は電気系の大学院および学部の主任教授にお願いした。

役員を再選した昭三会総会

再建総会を開いた大阪・大正支部



# 人それぞれ

## 蝶理監査役になった 橋本洋一郎氏

□…本学商学部講師で、株式会社蝶理の監査役に就任した橋本洋一郎（はしもと よういちろう）氏「監査制度の強化を中心とした改正商法が十月一日から施行される。この改正によって監査役監査の責任は飛躍的に加重される。経営をチェックすることにより企業がその社会的責任を果して行けよう。これからももっと勉強していきたい」と抱負を語る。

□…昭和三十一年に、大学院・修士課程・経済学研究科・経済学専攻、同三十五年には博士課程・経済学研究科・金融経済・経済史専攻を卒業。久保田音二郎先生、今西庄次郎先生に教えを受けた。久保田先生は、ユーモラスながら学問上のことがらにはきびしかった。今西先生には修士論文をていねいにみていただき、個人的にも指導を受け、その人柄の誠実さに深い感銘をうけた。

□…改正商法では、監査役の権限が大幅に強化され、資本金一億円以上の企業では、監査役はこれまでの会計監査に加え、業務監査権も与えられる。任期が一年から取締役並みの二年となり、取締役会に出席して意見を述べたりすることができるようになる。旧法と新法の橋渡しと、新法監査制度の順調な定着が目下の宿題と、新監査役はいう。

（公認会計士、税理士の登録をしており経営、会計のエキスパート。現在は、商学部の講師として原書講読の授業を担当しておられる。関大の校風は庶民的であり、アット・ホームで気持がよい。学生に望むことは、ビジョンをもって、説得力のある見通しをもってほしいとのこと。

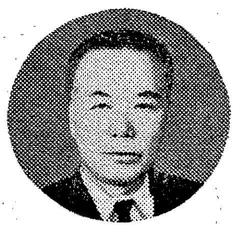
□…生活信条は、きめないのが信条。信条をきめると、それに拘束される。ただ具体的な生活目標には最大の効果を得るために最善の努力を払うべきである。

趣味は旅行、読書、ヌミスマティックス（古銭蒐集）など。家族は夫人と二男、一女で、長男は関大一中に在学中である。

（昭31院修経・昭35院博経。関大商学部講師・京都外国語大学教授・公認会計士・税理士）

# 校友市長は語る
## —2—

泉南市長　浅羽　富造



# 青い海と空と山を
## —市民のための町づくり—

私が関西大学専門部（二部）法科に入学したのは昭和十年の四月であった。経済的に恵まれていなかった私は、昼は働きながら夜間部に通学したのでしたが、さて専門部を卒業して大学部に進むのですが、当時は夜間の大学部はありませんでしたので、勤めをやめて法文学部の英法科に通いました。当時の大学生は卒直に言って皆よく勉強したものでした。

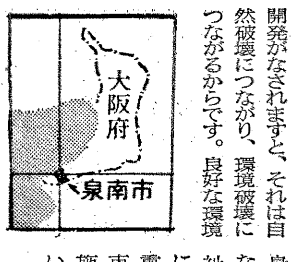
昭和十六年、卒業と同時に大阪市役所区政課に勤め、公聴課長、此花区長、同和対策部長などを勤め、昭和四十五年八月泉南市長に当選し、以来行政執行者の立場にありますが、大阪市に勤めた二十九年間の行政経験は貴重なものであったと今でも思っています。

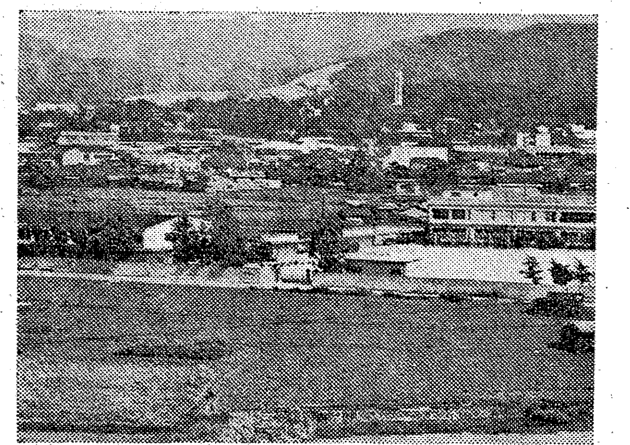
私は民主的な政治というためには、地方自治の確立がなければならないと考えています。いま三割自治という言葉は常識的に使われていますが、残念なことです。むしろ自治体の首長にもっと権限を移譲するとともにその裏付けとなる地方財政の確立を期することこそ現下最も重要な課題であるとおもいます。

行政の在り方としては、市民本位の市政、住民参加の市政こそ大切であり、「健康的で明るい、住みよい都市づくり」でなければならないとおもいます。だから、人口が増え、ビルが建ち並び、ネオンが輝いていても、それは公害の街であり、犯罪の町であり、病気の多い町であり、腐敗の町であっては、決して市民のための都市づくりではありません。

私は、スリーブルー政策（テルーシー　青い海）（ブルースカイ　青い空）（ブルーマウンテン　青い山）ということを言っているのですが、泉南市も人口急増都市ですので、無計画な開発がなされますと、それは自然破壊につながり、環境破壊につながるからです。良好な環境を保持することは市民の健康を守る上で絶対に必要なことです。私は就任直後に公害課を作ったのもそのためであり、また関西新国際空港の泉州沖設置に反対しているのもそのためなのです。

また私は市民の幸せのためには精神的な面も無視出来ないと考え、人情豊かな泉南市、文化の香り高い泉南市ということを常にとなえ、敬老思想の普及、身体障害者対策、母子家庭対策などに重点をおくとともに、福祉優先の施策を重視するとともに、一言にして言えば、人間尊重、生活優先の立場に立って、市民の協力を得ながら積極的な施策を進めて行きたいと思っています。





緑の山を背にした泉南市

# 終身会員から
## 特志寄付…
### 金沢市の校友から

校友会の終身会費制は、昭和32年から実施しているが、三千円、五千円と改正し、現在は一万円となっている。代議員会でも、紙、印刷費、郵便料など高騰の折から、十年以上の会員からは幾ばくかの会費を追加負担してはとの声も出ているが、金沢市で弁護士を開業している木梨与松氏（昭17大法）から、次の手紙に金一万円を同封して寄せられた。

前略　大学並びに校友の消息等を、お報知下さる機関紙「関大」について、小生終身会員として当時僅かの金を前納させて戴きましたが、その後、物価の急変動など当時予想もされない時勢となり、いつか自発的に追加支払いをせねば申訳ないと念頭に抱きながら遅くなり申訳ございませんが、同封に取敢えず一万円納付させて戴きます。

五月三十一日

# 役員を再選
## 昭三会総会

福島学舎に学んだ昭三会（会長伊東太平氏）は、五月十一日午後三時から北区堂ビル清交社で総会を開いた。

林幹事長の報告によれば会員七十七名、出欠通知五十一名。病気療養中のものもあって出席者は三重県津市から田中久雄氏をはじめ地元の明田良造、伊東太平、大井英一、大西与次郎、尾崎信夫、川野栄三、神屋敷民蔵、小寺寛、林豊吉、牧野吾郎、松井重一の十二名であったが、校友会から榎本会長が出席して下さった。

議事の任期満了による役員の改選は、伊東太平会長ほか、副会長幹事長、幹事とも再選に決定。

また、六月二十二、三日長良川鵜飼、日本ライン下りの一泊懇親会は、名古屋の松広寿衛君のあっせんで計画をすすめているが、夫人同伴組も数組できる見込みがたったとのことであった。

# 再建総会開く
## 大阪　大正支部

校友会大正支部（支部長横山栄吉氏）は、五月十七日に区内大正通のレストラン「永楽軒」で支部総会を開催した。

大正支部では、本部の組織推進計画に呼応して、久しく途絶えていた支部活動を再建するよう役員の間で検討が重ねられていたが、このたびの総会はその足がかりの意味も含めたものとして持たれた。そのため今回は、校友会本部で調製した地域別名簿を資料に、約三百三十余名の在住校友へ総会通知を発送して当日に備えた。

結果的に返信の回収率は、必ずしも芳しいものではなかったが、出席予定の約二十名は揃って参集し、員数を上回る充実した話が展開され、また榎本校友会長、神屋敷事務局長ら母校関係者から、母校の近況を語っていただき、出席会員から明年に迎える母校創立九十周年には、挙げて協賛できるような支部の結束をはかりたいと力強い発言があった。

なかでも支部の中心である横山支部長は、八十の齢を感じさせない元気な姿で「名門関大」の名に恥じない支部づくりにつとめたいと抱負を述べた。

# 高知支部長に
## 山口春一氏

前支部長岡内瀞一氏（高知相互銀行会長）が、昨年一月逝去されて支部長は空席となっていたが、同年十月支部の会合で、つぎのとおり決定した。

▽支部長　山口春一（昭16大法・弁護士）
▽副支部長　島井範男（昭17専二商・公認会計士）
○支部事務所　高知市中島町三ノ四六　山口春一方　電話七二一一五二四番

# 河内長野支部総会

校友会河内長野支部では、四十八年度総会を五月二十六日河内長野荘憩いの家で開いた。出席者十三名。

四十八年事業報告、同収支会計報告、四十九年度事業計画—会員名簿の作成・十一月総会開催、四十九年度収支予算計画および会費の徴収方法などについて協議した。

記念写真を撮影してから中食を共にして懇親を重ねた。

# 大島鎌吉氏が表彰
## AIPSから

このほど国際スポーツ記者協会（AIPS）から大島鎌吉氏（昭6大予・昭9大法）が、AIPSへの日本加盟につくした功績を評価され表彰された。AIPS創立五十周年を記念して、世界のスポーツ報道を通じて、スポーツ振興とAIPSの発展に貢献したスポーツ・ジャーナリスト五十人を表彰し、日本からは四人が選ばれた。

大島特許事務所
所主　弁理士　大島武夫
弁理士　大島泰甫
大阪市西区江戸堀北通三丁目二十五番地（とみたビル）
電話（四四一）一一〇〇・一三九四（四四三）六一五〇

特許・商標・出願全般・審判事件
（日・英・米・独・仏・伊・スイス・ベルギー 中近東・東南アジア諸国・韓国等取扱）
鈴木国際特許事務所
所長・弁理士　鈴木武夫
弁理士　京口清
大阪市西区西長堀南通一丁目九番地　藤村ビル二階
（四ツ橋交叉点南50m東側 地下鉄四ツ橋線四ツ橋駅中央出入口隣）
電話　大阪　〇六（五三二）七四三一～七四三四　七四三五（所長室）

創業74年　資本金1億75万円
48年度実績　年商111億円
綜合衣料卸、貿易商社
◆49年大卒初任給　74,000円
〔50年事業拡張のため大募集〕
◆賞与（全社平均）　9.1ケ月
◆関西大学出身者　9名
（社員280名中　大卒者43名）
会社訪問大歓迎　毎週月、水、金、10時から
センイ　丸光
丸光株式会社
〒541
大阪市東区南久宝寺町2
TEL
大阪06(262)1501(大代)

トヨペットマンが幸運の使者
話題の「まりも（養殖）プレゼント」
実施中
いま当社のセールスマンが、まりもの当る応募ハガキ付き「お楽しみパンフレット」をもって、お宅を訪問しています。お車のご相談といっしょに、まりもの伝説や育て方なども、楽しくおたずねください。
実施中 5月10日～7月20日
これが
話題の「まりも」
阿寒湖畔の酋長の娘セトナと、下僕マニペの悲恋の伝説を秘めています。天然まりもは法律で採取が禁じられていますが、差し上げるのは世界で初めて養殖できたもの…まだ子供のまりもですが1年で1cm位成長します。
マークⅡとコロナの店
神戸トヨペット株式会社
本　社　神戸市兵庫区水木通2丁目3番地　☎(078)576-5001

電話設備工事
各種電話交換機設備・拡声表示装置
電子計算機・テレタイプ等の販売
富士通株式会社特約店
NISSIN　日新電設株式会社
取締役社長　吉川谷蔵
大阪市東区谷町4丁目2番地
TEL (943) 1561番（代表）
営業所　京都・堺・彦根

# 仕事、授業そしてスポーツ

## 全国唯一 2部単独体育会

## ここでも部員減少一途

二部という特殊事由のもと、限られた練習時間の中で、我々は体育活動を通じ健全な体の育成、人格の形成、良友の発見等に努力しておりますが、そうした活動において色々な問題が提起されています。

第一に本体育会においても部員は年々減少をたどり、近年の成績はひどくなる一方です。これは、大学スポーツへの誤った認識、組織の拘束への反発、同好会の増加等が考えられます。戦力の向上には部員の増加は第一であり、スポーツである以上「勝利」は大切であるところから今後、新入生の歓誘について一層の努力をしていきたいと思います。しかし、本年度の新入生六〇〇人の内、体育会所属クラブの入部者総数は四〇人たらず。わずか一人というクラブなど、部の存続というギリギリの状態にまで追い込まれているところもあります。

第二に、体育施設としては、体育館とピッチング用の敷地がありますが、これだけでは全く不足で狭い体育館を各クラブ譲り合いながらの練習といった状況です。こうした施設の中から優秀な成果を収めたクラブも出ていますが、施設の充実は、学校側の理解を得られれば解決出来るものであるので、今後の話し合いを強く推し進めてゆきたいと考えております。

第三に、活動に不可欠な資金面は、学校からの援助金だけではまかなえないので、各クラブ相当の個人負担を強いられているのが現状です。OBの方々のご援助を願っているクラブも極く一部です。選手登録料、合宿費、遠征費、備品等、ほとんどを個人負担でまかなっており、各クラブ会計は相当頭を痛めています。

第四に、夜間校であるが故に、練習時間も制限され、辛うじて授業の合い間をぬって行っています。どうすれば限られた時間の中で、仕事、授業、クラブ活動の消化が可能か、会員一人一人が真剣に考えているのです。考え方を変えますと、この三つの消化を可能としたときこそ、我々の学生生活は真のものであり、今後の人生において大きな力となることでしょう。短時間で効果的な練習をいかにするか、各クラブのキャプテンの腕のみせどころでもあります。

### 青春の楽しい思い出を

さて、体育会一年間の行事は次の通りです。

三月に春季リーダースキャンプがあり、ここで各クラブ新幹部の勉強会が行われ、幹部としての自覚を再認識し、クラブ発展の基礎を作ります。四月は新入生歓迎会です。今年は初めてのこころみとして新入生を対象としたフレッシュマンキャンプを計画中です。八月には体育会員相互の親睦をはかる一泊二日の小旅行を行います。昨年は淡路島一周をやりました。

十一月、青空のもと、日頃あまりスポーツと振れ合いの少ない一般学生の自由参加を求めて、お互いに関大二部に学ぶ者としての輪を広げ、青春の楽しい思い出となるスポーツ祭を催します。昨年度は千里山体育館で大バレーボール大会を行いました。なお、当日午後には幹部交代式が厳粛に行われ旧役員の真剣な顔が見れるのもこの時です。秋には秋季リーダースキャンプがありますが、ここで新幹部としての自覚を持つのです。また、一月十五日には恒例の妙見参りがあります。

我が体育会は日本で唯一の二部単独で、過去幾多の輝かしい戦果を残してきましたが、今日の部員減少、それにともなう戦力の低下、体育施設の不備、活動資金の不足、夜間校の時間的制約等をかかえ、クラブ活動は一層むずかしくなってきております。今日まで各位、OBの方々に厚くお礼を申し上げますと共に、今後より一層のご指導をお願いいたします。

（副本部長・法四　藤木利明）

1月15日に行った恒例の2部体育会妙見参り

### 各クラブ48年戦績表

| | |
|---|---|
| 準硬式野球部 | 春季リーグ2位、全日本大会進出、秋季リーグ優勝 |
| 空手道部 | 全関西選手権2回戦進出、全日本選手権2回戦進出 |
| 柔道部 | 西日本学生柔道選手権3位、全日本II部学生柔道大会出場 |
| 水泳部 | 関西学生選手権大会3部リーグ優勝、2部リーグ昇格 |
| 自動車部 | 関大イージーラリー開催、自動車安全講習会 |
| バドミントン部 | 関西学生リーグ　春季6位、秋季4位 |
| フェンシング部 | 関西学生選手権4部リーグ　健闘、目標3部リーグ昇格 |
| ワンダーフォーゲル部 | 日本各地の島めぐりを行う |
| 拳法部 | 全日本学生拳法選手権ベスト4、全日本学生拳法選手権個人戦ベスト8 |
| 山岳部 | 年5回の合宿　目標3年後のOB合同によるヒマラヤ登山 |
| スキー部 | 全日本アルペン出場 |
| 剣道部 | 大阪市学生剣道選手権準々決勝進出、大阪府学生剣道新人戦出場 |
| 卓球部 | 関西II部大学春季リーグ3位、同秋季リーグ優勝 |

---

# 書斎の窓

—㊼—

飯野　春樹

## 個人と組織

### バーナード理論の一断面

今年の日本経営学会大会（第四十八回）は、本学が主催校となって（委員長は商学部山口吉兵衛教授）、九月三十日から三日間、千里山キャンパスで開催される予定である。会員数一、六〇〇名をこえる大きい学会なので、校友の皆様方にもご尽力をお願いしなければならないだろうし、大学当局にもいろいろお世話になることだと思う。ちょうどよい機会なので、この紙面を借りて皆様にお願いを申し上げておきたい。

会員の一人として、私も大会準備のお手伝いに忙しくなりそうなこのごろである。その上、「書斎の窓」原稿締切日には、私の所属する他の学会の大会で報告するよう依頼されている。何とはなしに気がせくので、まずこの原稿から片付けることにしようと思う。時間をかけたらもう少しは興味あるテーマを選んで面白い文章を綴れる自信があるのだが。最も速く仕上げるには、日ごろ私が関心をもって研究しているチェスター・バーナード（一八八六—一九六一）について書くのが近道だろう。

戦前に経営学を学ばれた校友は、科学的管理のテーラーの名前をおぼえておられることだろう。戦後しばらくしての卒業生ならば、ヒューマン・リレーションズの話を講義できかれたはずである。テーラーが古典学派なら、人間関係論は新古典学派、われわれのバーナードは近代学派に属し、近代的組織論、管理学の始祖である。ここ十年ばかりの卒業生は、バーナードの名前をご存知だろう。

経営学のような学問では、学者の理論よりは、経営実践の体験をもつ実業人が、その体験や信念を体系化したときに大きい説得力をもつ。経営管理論でどうしてもあげなければならない三人の歴史上の人物、テーラー、ファヨール、そしてこのバーナードも実業人であった。

彼はアメリカの独占的な電話事業体であるベル電話システム傘下の電話営業会社、ニュージャージー・ベル電話会社の社長を二十年あまり勤め、一九四八年にはロックフェラー財団の最高責任者になっている。当時、財団の理事会議長には、日本にも縁の深かったのちの国務長官ジョン・フォスター・ダレスがおり、また、バーナードの後任者ディーン・ラスクは、その職からケネディ政権の国務長官に就任している。このような名誉ある地位に、ボストン近郊の貧しい機械職人の子チェスターが到達したのである。

**■「はじめに人間ありき」**

電話会社にはいるまで、アルバイトをして独力でわが道を切り開いてきたバーナードは、個人こそがすべての中心であると深く信じていた。しかし、アメリカ最大の独占体ベル電話システムに入社して、組織のもつ偉大な力を見聞するとともに、組織が個人を拘束し、抑圧することも体験した。極端な個人主義も、極度の組織中心の考えも正しくない。たしかに全体が調整されなければ協力の効果は得られないが、だからといって全体のなかに個人を埋没させてしまっては、協働の原動力である個人の力は十分に発揮されない。

そこでバーナードは、個人と組織、個人主義と全体主義とのあいだにバランスを保ちつつ、両者を統合する新しい組織理論、管理理論の意義があるはずだと考えた。

伝統的組織理論が「はじめに組織ありき」の立場から、人間を捨象した組織構造の問題を考察するのに対して、バーナードは「はじめに人間ありき」の立場から、次のように人間行動中心の組織理論を展開する。さまざまな動機をもち、自由意志と責任を備えた自律的な人間像を基礎に、そのようなパースナルな個人が、単独では達成できない目的に向って協働し、組織を形成する。組織とは、意識的に調整された人間行動のシステムである。全体の見地から調整された組織はインパースナルな性格をもち、そこでは個人の人格的行動が非人格的に組織化される。組織に参加する意志をもつことは、各人がその人格的行動の統制を放棄することを意味しよう。

**■個人と全体の対立と統合**

かくしてバーナードは、人格的な個人から出発して、個人と対立する組織の立場に到達する。組織を、仕事よりは人間行動からなるシステムとみるとはいえ、このような全体優先の組織の立場にとどまるかぎり、伝統理論としての意義はすくない。バーナードはこの組織の立場から、もう一度個人の立場との対応を考える。したがって彼の理論は、つねに組織サイドと個人サイドの両面からの考察を含み、しかも組織と個人との相互作用と両者の統合を説明しうるように構成されている。

バーナード理論の第一の特徴は、このような個人主義と全体主義の対立と統合の問題——人類の歴史においてつねに現れてくる古くて新しい重要な問題であり、あゆらる組織体（たんに企業のみならず、国家、学校、家庭にいたるまで、人間協働の存在するところ）において真剣に考えるべき問題——がつねに意識されていることである。組織目的達成の程度を有効性として、個人目的達成の程度を能率と名付け、両者の同時的達成が組織存続の条件であると指摘するのも、また種々の概念を改めて個人サイドからの考察を含めて再検討するのも、このゆえである。そして、以上のような人間論、組織論を基礎理論にして、管理者の諸職能、つまり管理論を説明するのは、他の大きい特徴である。

**■権限の発生は部下の受容に**

個人サイドから再検討された概念のひとつをとりあげよう。組織で調整する力に権限がある。権限ゆえに管理者は命令することができる（客観的、組織的側面）。しかしバーナードは命令が部下によって受容され、実行されるとき（主観的、個人的側面）にのみ、権限権威が発生すると考える。権限の源泉は部下の受容にある。この考え方からいえば、管理者だから、親だから、先生だからと、権限や権力をふりまわすのは間違っている。そうするのは自分に権威のないことを告白しているようなもの、権威は自ら作り出してゆかねばならぬのである。リーダーシップのない人ほど権力に頼らざるをえず、権力に頼るほど一層自らを堕落させるのである。

そのほか、バーナードは組織や管理における倫理の問題をその理論に効果的に組み込んでいる。組織とリーダーに高い倫理性がなければ、組織は長期的に存続しえない。企業の社会的責任を考察するとき、あるいはニクソン大統領の倫理性の欠除を問題にするとき、バーナード理論の幅広さを痛感するのである。

経済学にケインズ理論が出現したとき、人々はこれをケインズ革命と呼んだ。バーナード理論が経営学に与えた影響は、まさにバーナード革命といいうるであろう。事実、フランスの政治学者ジューブニルはそういっているし、わが国においてもしばしばバーナード革命という言葉をきく。紙面の都合で十分な紹介ができなかったが、興味をもたれた方はぜひ一読願いたいと思う。訳書「経営者の役割」がダイヤモンド社から出版されている。

人間は外部の影響のままに動くものではない。外部の制約のもとにあるけれども、自己の自由意志にもとづき、責任ある選択をなす自律的、主体的存在である。そう考えるとき、はじめて組織の拘束力からの自由と、組織のなかで自巳の人格の充[illegible]発想を主張し、実現しうるのだと思う。国家であれ家庭であれ、職場であれ教室であれ、人々を発展させぬような組織的結合に、私は反発する。良い組織は個人を発展させ、個人の発展は組織の力を拡大する。組織と個人の発展は相互依存的であり、両者のあいだの適切な調和が人類の福祉を向上させる必要条件であるということができよう。

（商学部教授）

---

## 新刊紹介

### 関西大学経済政治研究所編 「近代化」の基礎理論 III

研究双書第31冊

本書は三篇の論文を収める。

一、戦後日本における近代化の起点、文学部教授、田中英三

一、「社会的所有と「個人的所有」—マルクスの「否定の否定」をめぐる論争によせて—商学部教授　長砂　実

一、日本財政情報の欧米への伝播に関する覚書—日本財政近代化研究の一齣—経済学部教授　戒田郁夫

一、あとがき　田中英三

経済政治研究所は今から約十年前より「近代化の問題」を総合研究のテーマとしてとりあげ、これまでに「近代化」論資料集I・IIの二冊と、「近代化」の基礎理論I・IIの二冊、計四冊を刊行し、学界から注目を浴びてきた。本書は、この一連の研究の最後の仕上げとして刊行されることになったという。

戦後とくに昭和三十年代の半ばより、日本の経済的高度成長がめざましくなってくるとともに、日本よりも、むしろ欧米、とくにアメリカが、この高度成長の秘密は何かと研究をはじめた。日本の学者も、これとともに研究を開始した。そして日本の近代化に成功した理由としていろいろの原因があげられた。とくに西欧のそれとならんで、典型的な封建制度が日本のみに存在し、封建社会にあって高度な経済発展がみられたこと、武士を主体とする知識階級が幕藩体制の官僚機構として存在し、緊密な統治を行っていたこと、教育の普及していたこと、各種の技術の発展のあったことをはじめとし日本人の勤勉、貯蓄意識の旺盛、こうした経済倫理を養った儒教等々をはじめ、いろいろな研究があらわれた。

本研究所の研究は経済や法学等の実際部門関係の研究者と哲学、教育学等の研究者の理論的、思想史的考察と相まちそして、とくに西欧との比較史的研究の論考を加えて学界に広い視野の研究と資料を提供した。

さて、本巻第一論文は、とくに明治維新当時の開国と戦後の連合軍占領政治下における第二の開国とを比較した。そして第二の開国後昭和二十五、六年頃から高度経済成長の開始される昭和三十年頃までの間の五年間くらいが、戦後の近代化の様相を転換せしめる過渡期であることを指摘し、日本人の意識構造の変化過程を鋭く追究する。従来、経済学的な近代化論が卓越した学界にあって、きめ細いユニークな精神史的研究として尊重すべき労作といえる。

第二論文は、マルクスの「否定の否定」をめぐる学界論争に決定的一石を投ぜんとする野心作といえる。マルクスが「共同体的所有」—その否定としての「資本主義的所有」—その否定としての「集団主義的＝共産主義的所有」のシェーマを、その研究の結果打ち出したのは有名であるが、このシェーマの理論的解釈に多くの学説が出て論争が行われてきた。著者は、これらの学説の一つ一つを弁析し、正、不正を明らかにして自己の説を打ち出した。一読、明晰に理解できる。ただ評者の如く帰納的実証科学を学んだものには、こうした弁析的方法による理論科学は今一歩わかりにくい。頭の好い宗乗学者の教相判釈論文をよむが如き印象をうける。

第三論文は、明治時代における日本の財政に関して欧米人がどのように見、研究したか、また日本人が欧文をもって、どのように報告したかという細密な文献学的かつ伝記的研究である。時代によって英語文献、フランスのそれ、ドイツのそれと研究文献の是の異ってゆき、研究者の動向の変化してゆく点は面白い。とくに評者個人に興味深かったのは、一八七二年の予算を分析したブラックウッド・エディンバラ・マガジンの記事と明治十五・六年のジョン・S・ケルティの列国の財政・貿易の比較統計表であった。こうした研究が、各方面の分野でなされると、日本近代史研究は、いろいろな見方ができ、豊かな成果が期待される。

巻末の欧文文献目録は便利であり、貴重である。終わりに長年、近代化研究に努力された諸賢に敬意を表する。（A5版、一一〇頁）

（望如急生）

### 日本思想大系（4） 最澄

安藤俊雄・薗田香融　共編著

日本思想史上、はじめて独自な体系的著書を多数残し得た二人の天才的思想家がある。一人は最澄一人は同時代人の空海である。この二人は時に親しく交り、後やや疎遠となった。この二人は同時に唐に学び、一人は天台を学び、他は密教を学んだ。そして夫々天台宗と真言宗の開祖となったことは周知のとおり。ところが、この二人は全く対照的な性格を持つ。空海はその名の如く天空開闊、海の如く広い抱容性をもち、文芸、芸術に至るまで多面的に行くとして可ならざるなき天才ぶりを発揮し、他宗と余り争わなかった。

ところが最澄は火の如く烈しく、南都諸宗、とくに法相宗と対立して争い、とくに会津の徳一と論争を重ね、その弁証の過程で、天台教学を発展せしめた。その十二年の籠山の堅忍不抜、克己的な修行、禁欲的、ピューリタンな生活は、空海もそうでなかったとはいわぬが、最澄の性格をきわだたせる。とくに南都戒壇に対し、円頓戒壇建立のため、南都や僧綱と死ぬまで争ったことは戦闘的なその生涯を強く印象づける。

本書は、彼の主著である「顕戒論縁起」「顕戒論を上るの表」「顕戒論」「山家学生式」付「得業学生式及び表文」「守護国家章」「決権実論」「願文」を収める。

これらの書は一般の読者にとって決して読み易い書ではない。このたび、安藤、薗田両氏によって仮名交り文に書き改められ、詳密な註と七五頁にわたる薗田教授による懇切、明快達意な解説をつけられ、漸く親しみ易いものとなったことは、有難いことである。

編著者の一人安藤俊雄氏（元本学教授の安藤氏とは同名異人）は大谷大学・元学長で天台教学の権威であったが、惜しくも旧臘二十六日に逝去された。それだけに校正と註の増補にあたられた薗田氏の苦労もまた一方ならぬものがあったという。

本書の特色の二、三をあげてみよう。七五頁にわたる解説は、最澄の伝記とくに思想的経歴を叙述したものとして、従来発表されたいかなる研究書よりも、その本質を的確に把握した論文であり、とくに徳一との論争については、かつて「史林」誌上に「最澄の弁証を通じてみたる南都教学の傾向」なる名論文をものした著者の独壇場であろう。

第二に解説の二、生いたちと環境において究明された最澄の出身氏族三津首を含む近江国志賀郡地方の帰化系氏族、志賀漢人の詳密な研究である。これによって最澄の如き碩学の僧侶の出現が、決して偶然ではないことが明らかにされた。これは従来にない新研究である。

第三に、これは現代の天台教学にとって重大な提起を行った研究であるが、従来「山家学生式」にしるされた「照千一隅」の千は「于」とよまれ「一隅を照らす」と解し「一隅を照らすものが国宝である」と最澄がのべたとし、多数の人が、これを信仰と実践の標語とし、信条とした。しかし薗田氏は最澄自筆を検討し、これは絶対に「千」としか読めず、自筆の他の箇所に記された「于」と異ることを指摘した。更に最澄が典拠としたと考え得る「止観輔行伝弘決」巻五之一に「各守二一隅一…照二千里一」とある文より「照千一隅」は「照二千里一守二一隅一」の略なることを指摘された。この指摘は、今後、大きな波紋を巻き起こすであろう。他にも新知見は少なくないが、読者は本書について見られたい。

（そのだこうゆう氏は本学文学部教授）

岩波書店刊　定価二千円

（寿亭夢）

### 漱石のシェイクスピア

野谷士・玉木意志太牢　著

この書物は第一部と第二部に分かれ、第一部がこの書物の表題そのものとなっている野谷氏の論文である。表題の「漱石のシェイクスピア」の「の」は、漱石が自家薬籠中のものにしたという意味の「の」である旨序言に説明がありその文章がそのまま帯封態で外函の図案になっている。そしてその薬籠の度合いを三段階に分け第一段階ではシェイクスピアに対する解釈、つまり、シェイクスピアをどのように理解していたかを漱石の書き込みと文学評論を基礎に据えながら追っていく。第二段階では漱石が理解したシェイクスピアを彼の作品の中でどう発展させたか、それを「草枕」の那美、「虞美人草」の藤尾、「三四郎」の美弥子を中心に据えて解明し、第三段階で遂にシエクスピアを漱石は乗り越えたと断定していく。

この底に著者野谷氏の漱石に対する限りない愛着と敬意が滔々として流れているのを知る。つまりシェイクスピア学者野谷氏が、かねがね尊敬してやまぬ小説家夏目漱石を自家薬籠中のものとし、シエイクスピアに対する野谷氏の解釈が、いつの間にかそのまま、英文学者漱石の解釈と重なりあっていることに気がついて、遂にその分析に乗り出した、そんな書物である。

分析力はなかなか鋭い。野谷氏自身も漱石と同じように小説を書くのだが、鋭い分析が氏の流暢な筆捌きに乗せられて、読む人をぐんぐん引張っていく。演技する女性達でそれは最高頂に達する。このような山の張り方は、つまり、女性主人公の分析でもっともさえを見せる手腕は、小説家野谷氏の文学に対する心構えと無縁ではなかろう。英文学者野谷氏が小説家野谷氏と融合一致するところといえようか。

第二部は玉木意志太牢氏の分担で、漱石が東大英文科で行ったオセロの講義の野上豊一郎氏筆記によるものに更に注釈を加えたものである。これが面白い。漱石先生の講義の姿が彷彿として眼前に浮かぶ。

しかし、この第二部は決して第一部の付録ではない。第一部で解明された漱石の姿勢は、第二部を読むことによって、更に、完全にその裏打ちをされることになる。或は逆ともいえる。第二部の漱石のオセロ解釈は、第一部を読むことによって更に異彩をはなつ。この意味で、第二部を「付　漱石の『オセロ』評釈」と解釈し、小さな文字で表題に併記した出版社の取扱い方に少し疑問が残る。

（文学部教授・田中　昭平）

---

# 体育会各部の現状と指標

（3）

## 初心にかえり技術練磨へ

アイスケート部

わが部は過去に幾多の名選手を生み、関西の雄として全国に名声を轟かせてきました。しかし、ここ数年入部者は少なく、昨年三月四名の部員の卒業後は、フィギュア部門に部員数名という最悪の状態となりました。部員減少、それに伴う諸々の問題が深刻となっています。部員が少数人のため、クラブ本来の活動が思うようにできず、また技術的にも未熟のため試合にも参加できない状態でありました。いまのところ、在学の先輩部員が欠けているため、OBのご指導という周囲のご厚意によって週何回かの練習を積み重ねています。

このような状態を打破するため、新入部員三名とともに、真の学生らしい主体的な活動をもとにして、もう一度初心に帰って、部員相互の親睦のための行事、基礎体力づくり、技術練磨に一そう努力したいと思っています。現在の活動を基盤にして、後の新たなるクラブ形成をはかり、より充実した大学生活のすばらしさを確認するための活動を考えていきたいと思います。

大学という自由な時間を与えられた我々は、その時間を有効に過ごすために、社会一般の情勢にも目を向けるとともに、個々人の技術向上と知識の還元によって、お互いの切磋琢磨に役立つようなクラブ活動を推進していきたいと思います。

主将　藤井　絹江（社二）

主務　上原　忠章（社三）

部員　五名

## 体力づくりとチームワーク

アイスホッケー部

我が関西大学体育会アイスホッケー部における昭和48年度の戦績は、第18回関西学生アイスホッケーリーグ戦において9度目の優勝、全日本学生氷上競技選手権9位、第21回関西学生氷上競技選手権に10度目の優勝（四年連続総合優勝）という輝かしい成績を残している。このような成績を残せたのは、アイスホッケーには、欠かすことのできないチームワークがあったからである。

アイスホッケーは、非常に速いスピードでゲームが進行するが、その速さの中には、精密なチームプレイが要求される。わがクラブにおいて、部員数は必ずしも満足な状態ではなかったが、チームの和の力をもって、数々の試合を戦い抜いてきた。部員が少ないことは、アイスホッケーにおいて非常に大きなマイナスになる。というのは、アイスホッケーはゲームを中断することなく選手の交代をし最強の体力を持ったメンバーがいつもパックを追っているからである。目にもとまらぬ速さでシュートされるパック、猛スピードで体をぶつけるブロックと、アイスホッケーには強い基礎体力プラス、チームワークが必要である。

我がクラブの練習は、ラサ国際スケートリンクにおいて朝8時から9時30分、夜は9時から10時30分までの短い練習時間で、しかもその中にはミーティングなど含まれることもあるので実質的な練習は極めて少ない。

今年度の新入部員は三名で、戦力の不足はやむを得ないことだが、選手の少ないことは、ひとりひとりの基礎体力がより必要となる。故に今年は、体力作りに注意して、練習を進めていかなければと、部員一同心に決めています。

主将　和田浩一

主務　上村隆志

## 和の武道のリーダーに

合気道部

現在、わが合気道部では女子三名を含め部員は二十五名いますが、他の部と同様に部員減少の傾向にあります。その事は学業との両立という意味で練習時間に大きな影響を与えています。また部員の減少は激しい練習の中では精神的にも負担が大きいものです。この部員減少という問題は今後も最大の課題となると思います。

わが部では関西の合気道部のリーダー格として全国的には「関大合気道部に杖取り在り」とレベルの高さを知らしめています。しかし、他大学（近大、竜大等）も関大・大経大に続けとばかりに練習に精進しており、わが部も一段の飛躍を目指し、今度の関西及び全国合気道演舞大会においては他校の手本となるよう、連日練習に励んでいます。

しかし、合気道の真随を考え直した時点におき、試合をすることの恐ろしさと無意味さを再確認する必要があると思います。合気道は「真の和の武道」であるに自覚をもち、それを基盤として今後の指標として行きたいと思います。

主将　古村博明（工四）

主務　泉谷和志（法四）

---

ロングベストセラー
高橋信次著
偉大なる悟　五五〇円
心の原点　五五〇円
心の指針　五五〇円
愛は憎を越えて　六八〇円
三宝出版
111 東京台東区雷門2-2-6
03(843)4856代
心の発見
現証篇　六〇〇円
科学篇　五五〇円
神理篇　五五〇円
原説般若心経　五八〇円
フェイス出版
105 東京芝西久保明舟町11
03(501)8721

すべてのご家庭に 愛の光を…
朝日生命
本社／東京・大阪営業局／淀屋橋

関西大学校友会刊
関西大学を築いた人々
A5二九四頁　一、〇〇〇円　〒一四〇円
人物伝による九〇年史　横田健一、薗田香融両教授が六年余機関紙「関大」に連載好評
毎日新聞社刊
大学シリーズ　関西大学
B5一八四頁　一、〇〇〇円　〒一四〇円
カラー写真による大学の現況　貴重な写真により大学の歴史発展過程を綴る
関西大学校友会
564 吹田市山手町3-3-35 関西大学会館
振替大阪 55594　電話 06-388-1121大代

NISSAN バイオレット
バイオレット・ハードトップ 1600SSS
私達はくるまを通して，地域社会の発展に貢献したいと思います。
——しんらいの輪をひろげる
大阪日産
本社：大阪市福島区下福島1－4
☎(06) 441－7951大代表

昭和49年6月30日竣工
《賃貸》
新カトレアマンション
朝のゆとりは生活のゆとり——
新しい住まいにぜひどうぞ。校友優遇入居についてのお問合せご相談は下記まで（パンフレット有）
小﨑土地興業株式会社住宅事業部
代表取締役　小﨑健新（昭33 大修法／昭41 学I法）
本社 大阪市阿倍野区播磨町1丁目21番21号
TEL 622—0680・624—0524

HOUSE
Blend Special

時の流れと深い知恵が育てた
ハウスブレンドスペシャル
ハウス食品工業株式会社
たしかなものをつくるために——
味のいのちを生み出すために……
ハウスが心をこめてブレンドしました。
ゆっくりとゆっくりとブレンド＆ブレンド。
ハウスだからできたカレーです。
価格……(125g) 120円
Specialという言葉を私たちはこのカレーのためにとっておきました
新発売
ハウスブレンドスペシャル

**畏友森川太郎君の**

# 苦学時代をかたる

その3

三島律夫

**おことわり**

今回は、広報部長の了解を得て森川君が休学中の一年間におこった、母校の変革などをまとめて彼に知らせる通信文にしました。なお、同君に直接ふれることは次号にゆずり、それをもって終わる予定です。

## 書信に託す関大維新の報

森川兄、足下

君が山陰の地にあるであろうこの一年間（大正十一年）は、母校関西大学の維新の年（僕の勝手な命名ですが……）になりそうです。

その呼称の当否や評価は、賢明な君の裁断にまつと共に、後年の史家が「母校創立百年史」を編せられる資料の一端にもならば幸甚と存じつつ、ここに新しい現象や変革について、順を追ってご報申し上げます。

**㈠高等研究科のこと**

大正十一年三月二十日、僕たちのために第三十四回の卒業式が挙行せられました。例年ならば「ハイ・ごきげんよう」で別れてしまうのですが、この年はなんだか母校に対する愛惜の情たちがたく、ただよう学問的雰囲気に酔いしびれたいような気持で、容易に校門を去ろうとはしませんでした。

この空気こそは、やがて高等研究科の面目一新として、如実にクローズアップされました。かねてから学則の上では、大学部・専門部の卒業生のために、高等研究科が設置されていましたが、実際には有名無実に等しいものでした。

ところがこの新学年はどうでしょう。言わず語らずの中に三十数名が入学して来ました。指導教授はわれ等に人気満点の岩崎（社会学）宮島（経済学）の両先生です。なんだかうれしさで胸がワクワクしてきます。

森川君！わが母校に初めてみるこの高等研究科の盛り上がりこそは、僕たちが昨年来続けてきた大学昇格運動に、満足の成果が見られるであろう前奏曲であるように思えてならないのです。

**㈡学内組織大変革のこと**

五月二十日、今橋ホテルで開かれた理事会の結果、学内の組織に一大変革がありました。それは学長織田萬先生と、専務理事垂水善太郎先生が辞任せられて、新たに総理事山岡順太郎先生、専務理事宮島綱男先生という新陣容が出来たことです（柿崎専務理事は留任）。この報が一度び職員室と事務室に伝えられた時のショックは大変なものでした。

ご承知のように垂水先生は、明治二十三年幹事に就任された人で、後に専務理事になられてからは、事実上母校経営の独裁者のように思われていましたから、そこへ彗星のように現われた新人の宮島先生が、専務理事になられたとの飛報ですから、教職員の異常な動揺の程も十分うなづけるわけです。

専務理事の政権？をおりられた翌日の垂水先生を見ました。心なしか肩の沈んだおやじ（関甲でお世話になった恩師の愛称）の後ろ姿を見ながら「一つの時代が去ってゆくのだなあ」と、寂しい印象にかられました。宮島先生については、前記の高等研究科で、フックスの経済学を原書でご講義頂いておるほか、既に昨秋から校務の援助（創立三十五周年記念講演会の設営万端など）を命じられて、その人となりの大要はハダをもって感得しています。一口にいって才気煥発というのでしょう、打てば響くような早いジャッジや決断は恐ろしいばかりです。今後の大学経営については、山岡総理事の高邁な理想に従って、宮島専務理事のあの才腕が、縦横に駆使せられるであろうことの新鮮さを期待しております。

**㈢関西大学昇格のこと**

六月五日付です。文部省から認可状が交付せられて、いよいよ大学令による「関西大学」がここに新しく誕生しました。学園関係者こぞって歓喜と感激の極致にあるとでも申しましょう。ご勉強中の君におくる最大のプレゼントかと思います。十二分にご吟味、大いに喜んで下さい。

**㈣千里山学報創刊のこと**

六月十五日です。新しいことずくめのお知らせですが、「千里山学報」の創刊号が出ました。もちろん宮島先生の監修というか、ご指導のもとですが、去月から辰巳経世君が編集主任を命じられ（手当月額金五拾円）僕が兼務で副主任を嘱託せられていました。（兼務手当月額金参拾円）

「学報局」という部署に勤めるのですが、何分にも狭隘な福島学舎では一部屋の都合もつかず、いまは専務理事室に同居です。あまり広くもない部屋で、宮島先生には大変ご迷惑のことと恐縮しましたが、学報にかけられる先生の意欲は大変なもので、私たち二人を連れて山岡総理事の社長室へ、また先日は天王寺の山岡邸へと、活発によく東奔西走されます。文章家の辰巳君は重宝がられておりますし、僕もその部屋付の給仕竹田君と共に可愛いがられておりますから、初めに心配した窮屈な思いなど微塵もなく、四人で囲む昼食どきの楽しさなどはむしろ一家団欒そのままです。「学報局」の出来ますことは可成りの難産であったように聞きますが、いまやその初産の創刊号を見てホッとしております。別送の学報をご覧の上どうか君もまたこの成長を祈念してやっていただくようねがいます。

**㈤教授会初めてのこと**

森川君！これまでの関西大学は考えれば妙なものでした。それは教授をもたない大学であったからです。控訴院長・裁判官・弁護士という顔ぶれ、そして最近多い京都帝大・神戸高商・大阪高商の教授等々、ずいぶん著名な学者がたが見えますが、悲しいことには全部時間講師でした。古い校友が裁判所の出張所となげき、官公立校の植民地と卑下したものですが、今や新生の関大に、当然のこととはいえ専任の教授陣が初めてうまれました。

本学留学生第一号の岩崎卯一先生の帰朝就任をトップとして、村上喜貞、中村鎮次郎、小泉幸治、水谷揆一、服部嘉香の諸先生が昇格の前後相ついで教授に任ぜられたほか、専務理事の宮島綱男先生も兼務教授となられました。

無より有を生ずというか、学園の昨今は梅桜桃李一時に開くの感懐に近く、これから教授会らしい教授会が開かれて、新進気鋭の気魄の向うところその全知を集めて消極より積極へと転換、国内的より国際的視野に立つ雄渾な教育が動き出すように思います。君も来年は、早く母校に復学して、このアカデミックな空気に浸りながらさらにさらに才幹をみがかれるであろう日を待っております。

**㈥学歌が制定されたこと**

この年の九月です。新しく学歌が制定せられました。作詞は今春教授として見えた服部嘉香先生（前早稲田大学教授）で、作曲は山田耕筰先生ですが、

一番に、自然の秀麗人の親和…

二番に、真理の討究学の実化…

三番に、自由の訓練自治の発揮

と、服部先生の豊かな詞藻によって、新生関西大学のゆくべき道を美しく歌ってありますから、山田先生の名作曲と相まって、学生諸君が誇りをもって愛唱しつづけることと思います。誠にうれしいことです。僕たちもいま、同窓中村良之助君の指導によって、音痴にむちうっておりますから、また一緒に勉強しましょう。

**㈦女子事務員誕生のこと**

小さいことがらのようですが、初ものずくめのお知らせにもう一つ書きそえておきましょう。関西大学に女子職員の第一号が出来たことです。別に女性禁止のきまりがあったわけでもなかったでしょうが、今までの母校はオール男性の職員でした。この程紅一点の女性タイピスト播磨？さんというのが採用されることになりましたから、ここらにも新らしいいぶきが感じられ、新鮮な能率化にも拍車がかけられるであろう端緒のような気がします。どうか大いに頑張って下さい。復学のお楽しみの一つにして下さい。余はあらためてまた、さようなら。

—つづく—

（関大一高名誉校長）

---

**年史編集資料室から**

# 関西法律学校創立の頃

去る五月十六日、大阪市教育委員会によって、本学の前身である関西法律学校の跡地（願宗寺跡）に、顕彰碑が建立されたことは、既にご承知の通りであるが（一面関連記事参照）、これを機会にもう一度、本学創立の頃を、当時の新聞を見ながらふり返ってみたい。

一面に紹介されている碑文にあるように、本学が関西法律学校として開校されたのは、明治十九年十一月四日のことであり、場所は大阪市西区京町堀上通三丁目三十六番地（現在の西区京町堀三丁目二十九番地）にあった願宗寺においてであった。

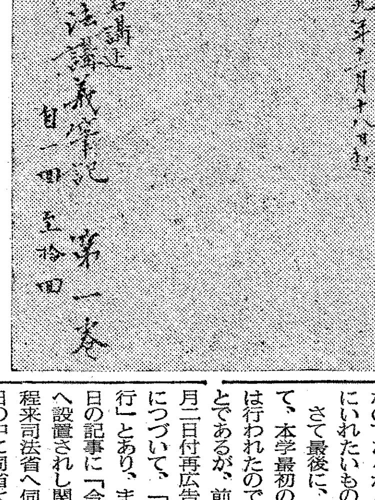
当時関西には法律学校とはっきりうたった学校はなかったから、社会的にも大きな関心をよんだのであろうか、その頃の朝日新聞や毎日新聞の前身である大阪日報に開校のひと月近くも前から、学校設立の動きがある由の記事がみられ、その後もかなり克明に報道されている。

即ち、明治十九年十月十二日の大阪日報、十三日の朝日新聞は、場所はまだ定まっていないけれども、関西法律学校が近く開校される由を告げ、また十三日の大阪日報はかなり長文の関西法律学校設立の主旨を掲げている。今の所この主旨を、だれが書いたのかは判っていないが、大阪の地に法律学校を創ることの必要性を切々と説いている。（かって本紙一四〇号で東京日日に出た同文のものが紹介された）

そして同月二十二日朝日紙上の「法学生徒募集」の広告では、はっきり「願宗寺内、関西法律学校事務所」と記され、開校の地が願宗寺であったことが判る。更に十一月二日、校主吉田一士名の「関西法律学校再広告」によって、同月四日開校の旨が示されている。

よく知られているように、明治十九年十一月四日、本学最初の講義を行ったのは、この吉田一士であり、それも経済学についてのものであった。

さて、本学には、第一回卒業生内田重成、小岸安昌二人の筆記ノートが残されているが、小岸の筆記になる「井上操講述・日本刑法講義」のノートは、冒頭に「明治十九年十一月十八日起」と記されていて、明らかに願宗寺で講義をうけた時のものである。というのは予想以上に受講希望の生徒が多く教室として使っていた願宗寺の本堂では狭くなり、同年十二月十三日には、東区淡路町へ移ったからである。


明治十九年十一月十八日起
井上操君講述
日本刑法講義筆記　第一巻

小岸安昌の井上操講述ノート（本学図書館蔵）

ところで一昨年毎日新聞社が写真集関西大学を出版した時、願宗寺の写真がなくて困ったのであるが、過日同寺最後の住職仏子玄竜師の三女吉田温子（はるこ）氏にお尋ねしたところ、玄竜師が写真嫌いであったため、ほとんど写真を撮らず、また戦禍に遇ったこともあって、願宗寺の写真は残っていないとのことであった。しかしなんといっても、本学発祥の地なのであるから、どうにかして手にいれたいものである。

さて最後に、この願宗寺において、本学最初の入学式（開校式）は行われたのであろうかということであるが、前出の大阪日報十一月二日付再広告に、「四日開校」につづいて、「但開校式ハ追テ執行」とあり、また同紙十一月十四日の記事に「今度府下京町堀上通へ設置されし関西法律学校は、此程来司法省へ伺中の処、右は五六日の中に同省より指令せらるる筈の由にて、指令着の上は目下児島控訴院長の帰阪中を幸い直に開校式を執行せらるる都合なりと」あるから、式が予定されていたのは確かで、また挙行されたのであろうが、児島院長は十七日から各地へ巡視に出かけているから、式に出席したかどうかはわからない。

【出版・広報課　大場義之】

---

# 関大を彩る人々

題字は
明石三郎学長

—4—

## 鳥海青児（上）

文学部教授
横田健一

## 本学の生んだ異才
## 中学時代に出世作の色調

鳥海青児本名正夫は一昨年六月十一日午後十時二十分、胸膜炎に急性肺炎を併発して逝去された。享年七十歳。今年の六月はちょうど三回忌を迎えるわけである。この機にあたり、本学の生んだ、もっとも優れた画家の生涯と芸術を回顧し、評論したいと思う。

考えてみれば、本学のように法律学を看板とし、あわせて経済学を併設した、実利的なようにみえる大阪の学校に、このような、個性的な風格をもった芸術家が生まれるのは、不思議な気がする。私事にわたるが、私は昭和二十一年に本学教授として就任後間もなく、二十三年に学友会の基督教研究部の顧問となり、二十五年に美術部白欒会の顧問となった。そして、実利的一点ばりとみえる本学の学生にも、このように敬虔にキリスト教を信ずるものや、芸術の創作に熱中するものがいるのみでなく、先輩に幾人もの牧師や画家がいることを知った。

さすがは大きな大学は違ったものだと思った。およそ宗教や芸術あるいは学問などは実利追求にきゆうきゆうとしている社会においては、発達することができない。

「商業人の息子に学問はいらぬ」「儲かりまっか」が合い言葉の大阪人は、金がいかなる価値にも優先する世界観をもつ。しかしこの大阪の大学にも意外に、人生の深味を思索し尊厳なるものを畏れ、また人生や自然の美を味わう余裕と自由なふんいきがあることを知って嬉しく思った。

そして私は美術部顧問たるの故をもって、鳥海が文部大臣賞、芸術選賞記念展を昭和三十一年に大阪梅田画廊で開いたとき、美術部で活躍していた杉山英行（昭二九・一法・現在画家）画伯の紹介で、鳥海夫妻に面会することができた。

そして一昨年四月七日午後、東京狸穴の邸に薗田香融教授や東元治年史編集室主任とともに訪問し、再度面談、関大時代の回顧譚をうかがい得た。今その三回忌にあたって、画の創作にひたむきであった氏の面かげをしのぶこと切である。

### 幼少時代

氏は明治三十五年三月四日、神奈川県平塚市において、父力蔵、母あぐりの間に三男二女の下から二番目に生まれた。家は商業を営んでいた。父は五歳の時に六十二歳で死んだ。父の重体の枕許で、何もわからぬ五歳の幼児は、ひょっとこ踊りを踊るので、裏山に捨てられたが、下男よりも先に駆けもどったという。父は「この子を画描きにするのだ」といっていたということを、後年、近親者に聞かされたが、本人は記憶にないそうである。画はうまかったのかもしれない。彼自身の幼時の記憶は生まれたところが漁師町なので、大漁があると、漁師達はまあわいと称する色染のどてらを着込んで、祝酒をのんで奉納かぐらにうち興じたが、昼間の岩戸神楽から始まって、打出しになる夜中の二時頃まで、はやし太鼓にしがみついて夢中になって見たという。色染のどてらを見たといい、早くから色感に敏感だったのかもしれぬ。

小学生の頃、母が剃刀で頭を剃ることが上手で、よく村人の死人の湯棺の時の頭剃りをたのまれていたが、子供の彼の頭をけいこ台にして剃ってくれたが、女の子が遊びに来ている時に、くりくりの青坊主にすられるのは、身を切れるほど辛かった——後年、洒落者になる素地はこのへんからあったといっている。私は二度逢ったが、着物の柄が洗練されていた。とくに夫人の着物が渋くて派手なのに一驚したが、夫妻ともにおしゃれに関心のふかい人たちだった。

小学校の五、六年頃から、兄や姉の愛読していた自然主義小説、田山花袋の「一兵卒」や国木田独歩の「牛肉と馬鈴薯」「夜行巡査」などを読み、小説家を志望したというから、早熟の才があった。

姉の女学校の教科書で、中学初年程度の勉強をしたので、小学校から藤沢中学の二年に飛んで編入試験を受けて、合格し、入学したことからも、早熟ぶりがわかる。

この藤沢中学は、ただし当時有名ないわくつきの学校だった。もともと藤沢は一遍上人の開いた時宗の道場として有名な遊行寺の門前町として開けたところである。藤沢中学は時宗の僧侶養成の学校としてそして創立されたものが、鳥海の入学した年に、正式の中学校として認可された。

現在、作家としても、また僧侶政治家としても有名な怪僧、今東光は神戸の有名な不良のあばれん坊中学生で関西学院中学部をはじめ、七つの中学を転校し、最後に東京の正則中学へ転入学の願書をもってい ったとき、校門で不良に喧嘩を売られてそれを買い、手に持つ喫いさしのタバコを相手の額でスリ消して大立回りをし、入学もおじゃんとなった。あと「俺の入れる学校は日本にたった一つ藤沢中学だった」と述懐したのを鳥海が今の口からきき、「僕はその藤沢中学を出たのだ」といって見直されたと書いている（芸術新潮、一九五三年二月所載、小自叙伝。鳥海青児画集、三彩社刊一九六七年）。彼はこの学校にいたので、喧嘩早くなったといっているが、同時に、後年、仏教芸術を愛好するようになったのは、こんな仏教系の学校に学んだからだともしるしている。

中学在学中、十五歳の時から油絵を描きはじめた。大正初年に油絵をかく中学生は、きわめて珍しかった時代である。母は「お小遣いをやると、すぐ絵具を買ってしまって、かさぶたみたいな絵を描いて喜んでいる」とこぼしていたというが、〝かさぶた〟とは厚く絵具を盛りあげる重厚な手法であろう。当時としては、きわめて斬新な手法であったろう。

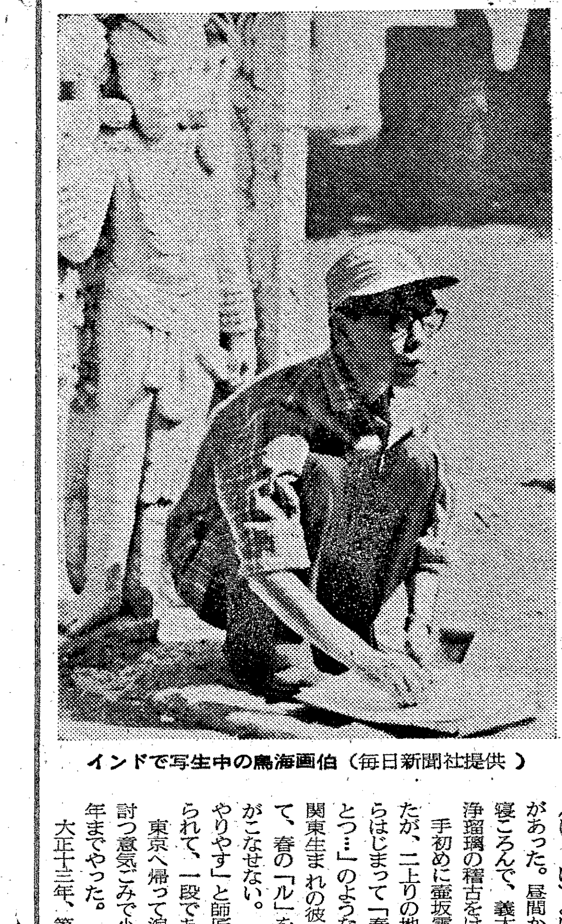
中学の図画の教師に「空はプルッシャンに土はライトレッド」とけなされて、一面受けが悪かったが、中学を出る時には、当時の一流展覧会に入る程度にはなっていたらしいと自らいっている。

空はプルッシャン、土はライトレッドとあるのを見ると、彼の春陽会初入選の出世作（関大卒業の翌年）の色調が早くも、中学時代に出ていたと見える。卒業の年に一級下の四年生数名が放校処分になったが、学校当局では、鳥海も四年生だったら放校組だったと言っていたのを聞きゾッとした。よほど困った生徒にみえたらしい。往々にして芸術少年の行動は不良と混同されやすいものらしいと語っている。芸術＝美の世界に打ち込み、ふけるという生活は、他の価値を美的価値に従属させるので、第三者からみると放縦にみえるものである。もし才能のある芸術家を育てようとすると、放縦を許容するだけの自由な空気と寛容が、その社会に必要である。

中学時代、二科会展でマティスの裸婦をみたのが、ヨーロッパ近代絵画をみた最初だという。マティスやピカソ等が活躍しはじめたのは、その少し前頃からである。

中学時代、逗子中学生所宏と知りあい画友となった。

大正十年十九歳で中学を卒業し、関西に来て芦屋に住む謹厳な義兄平林正二郎宅に住んだ。これは、彼自身は画の学校に入りたかったが、親族会議で、大学でも出て会社員になるのが無難ということになった。彼は、その席で飲めぬビールをのんで、「兄姉は俺の踏台だ」とタンカを切って兄姉のしんしょうを痛く害した。結局、三高入学の予定で芦屋の義兄に預けられ、受験準備勉強の目的で関西大学に入学したのが、そのまま六年間在学、卒業することになった。


インドで写生中の鳥海画伯（毎日新聞社提供）

### 関大時代

彼が関大へ入学したのは、昇格直前で、福島に昇格後の旧制大学としての学部の前階程としての予科の一、二年生があった。専任教員としては小泉幸治、中村鎮次郎の両教授くらいで、大正十年の秋に岩崎卯一が帰朝して教授に就任したが、予科は教えなかったようである。

彼は毎朝早く起こされ、義兄宅の西洋風花壇に水をやらされたので、眠たい苦行から花に対する愛情を失ってしまって、花を描かない画描きになってしまったと述懐している。

兄の家を一年くらいで飛び出して下宿生活に入った。関大時代は昼夜顚倒の生活となり、晩年にいたるまで、それが続いたというが、これは彼が低血圧症なので、そういう生活になったのではないか。私事ながら筆者も低血圧なので、そう感じる。

関大時代の彼は教室にはほとんど出ず絵をかくことと、音楽とをたのしんだ。中学の運動会で、いつもキイのないクラリネットを吹いていた彼は、関大に入ると、すぐ音楽部へ入ってコーラスのバスパートをうたい、また管の欠けたマンドリンオーケストラのギターをうけ持った。夏休みには近畿から中国、九州まで演奏旅行をしたという。当時、ギターは新しい日本に入ったばかりの楽器だった。部の音楽指導は関学の小田切先生がしてくれたという。経済学部一年の大正十二年の第一回春陽会展に画友所宏が入選している。発表をみて刺激され、自分も同会展に応募する志を立てた。

しかしその頃、道頓堀に播重（はりしげ）という娘義太夫の席があった。昼間から講義がわりに寝ころんで、義太夫にききほれ、浄瑠璃の稽古をはじめた。

手初めに壷坂霊験記からはじめたが、二上りの地唄・座頭うたからはじまって「春の夜さむに酒ひとつ…」のようなアクセントが、関東生まれの彼には、棒になって、春の「ル」をあげる上方調子がこなせない。「江戸浄瑠璃をおやりやす」と師匠にあっさり断わられて、一段であきらめた。——東京へ帰って浪花の仇を江戸で討つ意気ごみで小唄をならい、晩年までやった。

大正十三年、第二回春陽会展が東京の三越でひらかれ、彼は「洋女を配する図」「平塚風景」の二点が初入選の栄を得た。「平塚風景」は、後に受賞の「水無き川」の川の色と同様、坂の赤黄ろい土の色が、空の青と相映じて、色は明るいのにメランコリックで、白々と淋しい強烈な印象を与える佳作である。

同年、彼は横堀角次郎、土屋義郎、斎藤清次郎、川端信一、三岸好太郎（節子の夫）とともに「麓人社」を結成し、八月八日—十日に村田画廊で第一回展を催す。

翌十四年の第二回展には「ポプラと洋館」を出品した。十五年の卒業の年には岸田劉生から冬菜の画号を贈られている。春陽会では注目の新人といったところであった。

しかし関大の卒業は難物であった。彼は大学では焼けた旧予科校舎で音楽を練習するくらいで、教室へはタバコをもらいに行くくらいだったと語っている。当然、卒業試験は、受けても通りっこないと考えたのか、受けに登校もしなかった。それを山本順応（当時学生課員）が下宿まで迎えに行ったといい、また先生たちにも彼のことを頼んでやったともいう。それだけに、彼は山本を非常に徳として、のちのちまで交際し、絵を贈ったりしている。

また当時、経済学部の教授であった水谷揆一現講師にうかがうと、卒業成績査定の教授会では、とても、卒業させられる成績ではなかったが、水谷教授や服部嘉香教授など彼が親しんでいた先生たちが、いろいろ弁護して、やっと卒業できたものであるという。

昨年最後にお目にかかったときも、当時の千里山は学生も少なく、家もなく、桃もミカン畑の多い美しい景色のところだったとなつかしんでおられた。古き良き時代であった。（つづく）

---

**短信**

今期地方議会の役員改選で新たに就任のポストは次の通りである

▽**奥村肇**（昭15専2法）大阪府議会副議長　▽**寺西武**（昭24大法）大阪府議会労働建築常任委員長　▽**加賀谷忠夫**（昭28学1経）大阪府議会文教常任委員長　▽**原田永信**（臨16専2法）尼崎市議会議長

▽**結婚**　**馬場園高一氏**（昭35学一経　校友会代議員）は　勤務先亜細亜金属KK専務取締役有山文雄・裕子ご夫妻のご媒酌により、五月五日天満橋高砂殿において華燭の典を挙げられた。

新婦は一枝さん（旧姓中島・徳島県立美馬商高ご出身）である。

▽**近藤忠二氏**（昭13専二法）は、五月十五日に社団法人関西飛行協会の専務理事に就任された。

**日本拳法会新役員**

▽宗家　沢山宗海（昭7大法）
▽会長　矢野文雄（昭9大法）
▽副会長　武市富雄（昭13大法）
▽本部総局　乾竜峰　山田洪志（昭10大法）
▽審判団長　山脇智（昭18大経）
▽事務局長　辻見重行（昭28学一法）

**横田　敬治氏**（大14専法・香島建設㈱会長）五月二十一日豊中市蛍ヶ池東町3の14の5の自宅で老衰で逝去された。83歳

告別式は同二十三日午後二時～三時蛍ヶ池正福寺で執り行われた。

**奥沢　澄氏**（昭8大経・税理士・校友会鳥取支部長）五月二十二日八時五分心不全で逝去された。

告別式は同二十四日午後一時から市内新品治の景福寺で執り行われた。遺族は鳥取市西町一ノ四二八長男（マサタカ氏）。

**平井　三郎氏**（昭8大法・元関大学生課長）三年前脳溢血で仆れ療養中、昨年は集中豪雨で家屋倒壊、夫人を失った。六月十日午後十一時脳溢血で逝去、70歳

遺族は福岡県粕屋郡篠栗町、萩尾七郎方、長男元悠氏。

喫茶
地下鉄東梅田・日興ビルB1　☎313−6774

米山薬品工業株式会社
取締役社長　嶋田藤平
大阪市東区道修町二丁目三三番地

押すだけで注げます。
その便利さに人気集中！
■プッシュボタンを押すだけ！空気圧利用でテーブルに置いたまま、ラク〜に注げます。
■すぐれた保温・保冷力を発揮。温かいお飲み物だけでなく、冷たいお飲み物も、ご用意できます。
■持ち運びに便利なハンドルつきです。
象印エアーポット
押すだけ
象印マホービン株式会社・象印株式会社

現像を手がけて40年
FELOは日本の現像の歴史です——
映画、テレビ、一般写真から8ミリ、VTRにいたるまで
FELO東洋現像所のすぐれた技術は世界に認められています。

FELO 東洋現像所
FAR EAST LABORATORIES, LTD.

工場　京都：京都市右京区太秦安井西裏町3番地の1　075(841)9191(代表)
東京：東京都品川区東五反田2丁目14番1号　03(445)1681(大代表)
横浜：横浜市鶴見区尻手3丁目9番28号　045(571)1681(代表)
営業所　東京：東京都中央区銀座3丁目2番10号並木ビル　03(567)1681(代表)
大阪：大阪市与力町1丁目68番地　06(353)3321(代表)
サービス・ステーション　札幌・仙台・横浜・銀座・神戸・高松
関連会社　(株)九州東洋現像所・(株)名古屋東洋現像所・(株)静岡東洋現像所
(株)トーヨーサービス